

# ネットワークビデオレコーダ

## PNR-HD4000 シリーズ

4/8/16 チャンネル共通

## 設置・取扱説明書

VER HD4K-1.0(A01)-J1b

対応 F/W バージョン : E418K0-R4135

E522G2-R4213



- この度は、HD IP ネットワークビデオレコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この設置・取扱説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- 本機にサードパーティー製の IP カメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータ等を接続する前には、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

# 目次

免責事項 .....	4
警告 .....	4
注意 .....	5
故障を防ぐために .....	5
凡例 .....	6
梱包品の確認 .....	6
I 各部の名称とはたらき .....	7
1. 前面パネル .....	7
2. 背面パネル .....	7
3. リモートコントローラ .....	10
4. マウス制御 .....	13
5. マウス制御用バーチャルキーボード .....	13
6. リモコンとマウスの操作の違い .....	14
II 設置&接続 .....	15
1. 周辺機器の接続 .....	15
III クイックスタートページ .....	16
1. メインメニュー .....	17
2. 電源の入／切と再起動 .....	17
3. 日付と時刻の設定 .....	18
4. ネットワーク接続用 PC のシステム条件 .....	18
IV ライブ監視 .....	19
1. 表示概要 .....	19
2. 分割画面表示および画面自動切り替え .....	22
1. 1画面表示 .....	22
2. 分割画面表示及び画面自動切換表示 .....	23
3. 分割画面表示のクイックボタン .....	24
3. 分割方法の簡単変更 .....	24
4. 画面移動 .....	24
4. ズーム .....	25
V 基本操作 .....	26
1. ログイン・ログアウト .....	26
1. ログイン .....	26
2. ログアウト .....	26
2. メニューの基本操作 .....	27
VI 設定 .....	29
1. 画面 .....	29
1. 一般 .....	29



2.	画面自動切替設定 .....	30
3.	イベント.....	31
4.	イベント編集.....	33
5.	イベントによる画面自動切替え処理の流れ .....	34
2.	カメラ .....	34
1.	IPCAM SETUP .....	35
2.	IP SETUP .....	35
3.	録画 .....	40
1.	一般.....	40
2.	デイ .....	41
3.	デイベント.....	42
4.	ナイト .....	43
5.	ナイトイベント .....	43
4.	予約録画 .....	45
1.	予約録画設定.....	45
2.	休日設定.....	47
5.	ディスク .....	48
1.	ディスク管理.....	48
2.	録画用ディスク .....	50
3.	S.M.A.R.T 情報.....	51
6.	ネットワーク .....	52
1.	LAN ポート.....	52
2.	IPCAM ポート .....	53
3.	一般.....	54
4.	E メール.....	54
5.	SMTP.....	56
6.	DDNS (ダイナミック DNS) .....	56
7.	ホストリスト.....	58
7.	デバイス .....	58
1.	一般.....	58
2.	IO TERMINAL .....	64
3.	PTZ イベント (予定機能) .....	66
8.	システム .....	67
1.	一般.....	67
2.	日時設定.....	68
3.	ユーザーアカウント .....	69
4.	アップデート.....	70
VII	システム情報 .....	73
1.	要約 .....	73

2.	ディスク .....	74
3.	ネットワーク .....	74
VIII	PTZ 制御（予定機能） .....	75
IX	再生・検索 .....	75
1.	再生 .....	75
2.	時間検索 .....	76
1.	時間検索チャート .....	76
2.	プレビューサーチ .....	77
3.	イベント録画検索 .....	78
4.	イベントソース検索（予定機能） .....	79
3.	時間入力（予定機能） .....	79
4.	ログリスト検索 .....	79
1.	ログ情報の詳細 .....	80
X	バックアップ .....	81
1.	手動バックアップ .....	81
1.	バックアップ期間の簡単な指定方法 .....	82
2.	手動バックアップデータの再生 .....	83
2.	自動バックアップ(FTP) .....	84
3.	ログリストのバックアップ .....	86
XI	仕様 .....	87
XII	付録 .....	89
1.	故障かな？と思ったら .....	89
2.	IP カメラの接続設定 .....	90
1.	IPCAM ポートに専用 IP カメラを直接接続 .....	90
2.	IPCAM ポートに専用 IP カメラをハブ経由で接続 .....	90
3.	LAN ポートに専用 IP カメラをハブ経由で接続 .....	92
4.	サードパーティー製 IP カメラを IPCAM ポートに ONVIF 接続（予定機能） .....	94
5.	サードパーティー製 IP カメラを LAN ポートに ONVIF 接続（予定機能） .....	96

## 免責事項

- この設置・取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。外観・仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい設置・取扱説明書が発行される場合があります。
- ネットワークビデオレコーダ、ソフトウェア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障及びサポート対象外の機器を接続したこと等による故障・損傷またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。
- 弊社は、本機を日本国内での使用を前提として輸入・販売しております。本機を海外でご使用になった場合の、故障や事故に関し、弊社は一切の責任を負わないものとします。

## 警告

- 本機の通気孔を塞がないでください。器具の過熱防止のため、通気孔の周囲は最低 5 c m空けてください。
- 本機の中に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そして買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機及び AC アダプターの分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙・蒸気または異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙や蒸気が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機やその付属品に重い物を落すなどしてケースやコードが変形・破損した場合は、直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機や AC アダプターに水などの液体を入れないでください。NVR や AC アダプターは防水ではありません。液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機や AC アダプターのお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートのあるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたり改造したりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあります、大変危険です。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属の AC アダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・過熱・装置の変形等の恐れがあります。また、本機に付属しております電源コードは日本国内専用

です。プラグの形状や電圧の異なる海外ではご使用いただけません。

- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますので、電池を熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、電池の加熱や分解をしようとししないでください。電池の液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに流水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- 電池に強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物で電池端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターと、電源コードは、この NVR 専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品や電池の充電等を使用しないでください。

## 注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。  
温度：0～40℃ 湿度：90%以下(結露しないこと)  
AC アダプターの定格電圧：AC100～240V 50/60Hz（付属の電源コードは 100V 用です）

### < 重 要 >

本機に付属しております電源コードの最大定格は **AC 125V** です。

本機を電源電圧の高い海外でご使用になる場合は、変換プラグではなく、**必ず現地の電圧に適した高電圧用の電源コード**をお買い求めください。電源電圧の高い国や地域で付属の電源コードをご使用になりますと、火災や感電の恐れがあり、大変危険です。

- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。

## 故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターやブラウン管テレビの上など強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- ネットワークビデオレコーダ内部に結露を生じた場合は、直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源プラグを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。
- リモコンの電池を交換される場合は、単 4 形乾電池をご購入ください。

# 凡例

凡例	説明
「画面」設定	設定名称は「カギカッコ」を付けて記述します。
<b>設定</b> タブ	メニュー内のタブの名称は <b>囲み線</b> を付けて記述します。
<b>開始</b> ボタン	ボタンの名称は <b>囲み線</b> を付けて記述します。
<b>参照</b> →60 ページ	この設置取扱説明書に記述された関連項目の参照先を示します。
0 ～ <b>10</b> ～ 20	設定メニューの <b>強調</b> されている部分は初期設定値を意味します。
<b>&lt;情報&gt;</b>	知っておくと便利な機能や操作方法について説明します。
<b>&lt;注意&gt;</b>	操作や設定をする際に注意していただきたい事を説明します。
予定機能	現在開発中の機能を示します。この表示のある機能やメニューは使用しないでください。また、この表示のある設定項目は設定を変更しないでください。どうしてもこの機能を使用する必要がある場合は、お買い求めの販売店または弊社までお問い合わせください。(アップデート等によって利用できるようになる場合があります)

## 梱包品の確認

パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合は、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）のために、大切に保管してください。

品名	数量	備考
ネットワークビデオレコーダ本体	1 台	
マウス	1	
リモートコントローラ	1	
乾電池(単 4 形)	2	
AC アダプター(12V/5A)	1	NVR 用
AC アダプター(48V/1A または 48V/2A)	1	PoE 電源用
電源コード	2	
HDD ブラケット	4	HDD 取付用
HDD ケーブル	2	
クライアントソフトウェア CD 設置・取扱説明書	1 セット	本書

# I 各部の名称とはたらき

## 1. 前面パネル



① リモコン受信部

② PWR

本機の通電中に点灯します。

③ HDD

内臓 HDD のアクセス中に点滅します。

④ NET

本機の LAN ポートが他のネットワーク機器に接続されているときに点灯します。

⑤ STATUS

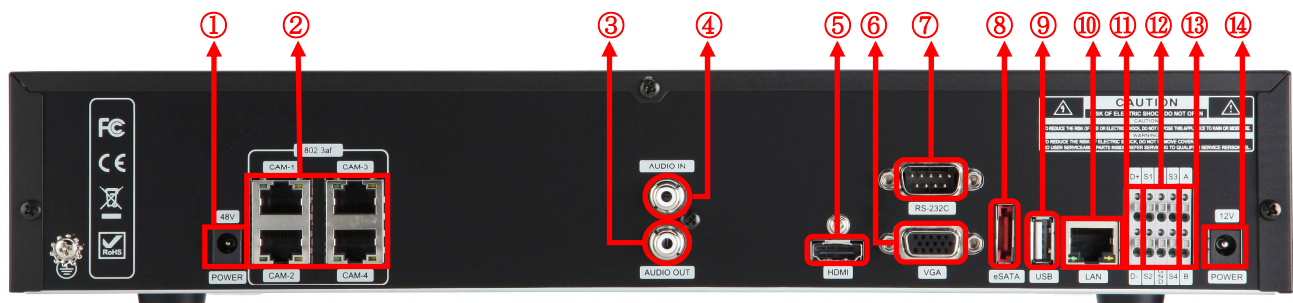
ブザーの鳴動に連動して点滅します。

⑥ USB 

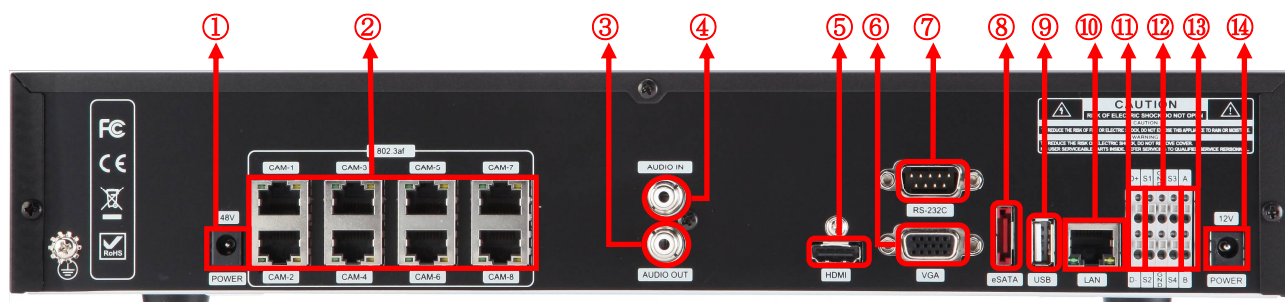
映像及びログファイルのバックアップとソフトウェアのアップデートのための USB メモリー・USB HDD 及びマウスを接続するための USB に準拠したポートです。

## 2. 背面パネル

4ch PoE



## 8ch PoE



### ① POWER(48V)

PoE(Power Over Ethernet)用の DC 電源ジャックです、付属の **DC 48V の AC アダプター** を接続して使用します。

### ② 802.3af (PoE IP カメラ用入力)

IP カメラ用の RJ-45 入力です。また、このコネクタは PoE によって、接続された IP カメラに電源を供給することができます。(各カメラに最大 12W まで供給可能)

### ③ AUDIO OUT

双方向オーディオ機能でモノラル音声出力として使用するための RCA ジャックです。

### ④ AUDIO IN (予定機能)

将来、モノラル音声入力として使用することを予定している RCA ジャックです。現在のご利用いただけません。

### ⑤ HDMI (デジタル映像出力)

メインモニター用のデジタル映像出力です。HDMI 入力端子のあるカラーモニターやテレビを接続することができます。

### ⑥ VGA (RGB アナログ映像出力)

メインモニター用のアナログ映像出力です。VGA (RGB) 入力のあるパソコン用のモニター等を接続することができます。

### ⑦ RS-232C (D-Sub 9 ピンコネクター)

工場での保守管理用です、お客様による使用は出来ません。

### ⑧ e-SATA

e-SATA に準拠した機器を接続するためのコネクタです。

### ⑨ USB (USB 2.0)

USB 2.0 に準拠した機器を接続するための、A タイプの USB コネクタです。

### ⑩ LAN (10, 100, 1000Base-T)

イーサネット経由で遠隔監視用のパソコンを接続するために使用します。また、個別の設定により LAN ポート経由で IP カメラを使用することもできます。

### ⑪ D+, D- (RS485 : 予定機能)

将来、PTZ 制御用として使用することを予定しています。現在のご利用いただけません。

### ⑫ S1 ~ S4, GND (アラーム入力)

外部機器からのイベントによって本機の録画制御等を実行するための接点入力です。この端子から

の信号は、各カメラからのアラーム信号とは別にシステムイベントの一部として扱われます。

⑬ A, B (アラーム出力：予定機能)

将来、イベント発生時に本機から外部機器を制御するために使用する事を予定している無電圧接点（リレー）出力です。現在にご利用いただけません。

⑭ POWER (12V)

NVR 用の DC 電源ジャックです、付属の **DC 12V の AC アダプター** を接続して使用します。

**<注意>**

- 本機は 12V と 48V の 2 種類の AC アダプターを使用します。AC アダプターの DC プラグを本機に差し込む位置が、それぞれ異なりますので、背面パネルの電圧表示と AC アダプターの電圧表示を確認して接続してください。
- 本機の 12V の DC ジャックに、付属の 48V の AC アダプターの DC プラグは、機械的に挿せない構造になっております、無理な力で差し込もうとすると本機及び AC アダプターの故障の原因になりますのでご注意ください。
- HDMI 出力は、接続するモニターとの相性によって、稀に映像が表示されなかったり画像が乱れたりすることがあります、そのような場合はモニターの再起動と入力切り替え操作を試みてください。それでも改善しない場合は VGA 出力のご利用をお勧めします。



### 3. リモートコントローラ



#### ① DVR ID

本機を弊社 PNR-HD4000, PDR-X5000, PDR-S2000 シリーズと同じ部屋で使用する場合に、それぞれのリモコンの信号が重複しないようにするために個別の ID 番号を割り当てることが出来ます。利用可能な番号の範囲は **00 ～ 99** で、以下の例のような操作で変更できます。

例：DVR ID を 05 に設定する場合→ **DVR ID** を押しながら **0** **5**

<注意>

- 「00」は特別な番号です。リモコン側が「00」の場合、本体のコントロール ID に設定された値に関係なく、強制的に操作することが出来ます。一方、本体のコントロール ID が「00」の場合、リモコンに設定された DVR-ID に関係なく、全ての DVR ID のリモコンからの操作を受け付けます。
- 本機のリモコンでは、PDR-XM4000 シリーズも操作できますが、PDR-XM4000 シリーズのリモコンで本機を操作することは出来ません。
- 工場出荷時の ID は「00」に設定されています。

② POWER

本機の電源を切ることが出来る状態にします。

③ 機能ボタン

本機の各種機能を直接呼び出すためのボタンです。

F 1 : 画面分割数を切り替えます。

F 2 : 分割表示時の表示位置を切り替えます。

F 3 : 予定機能

TIME SEARCH : 録画映像を日時から検索します。

EXT.SEARCH : バックアップした USB メモリーまたは USB HDD 内を検索します。

L O G : システムログを表示します。

S P O T O U T : 画面切換え用のパーシャルコントローラを表示します。

I N F O : システム情報を表示します。

B A C K U P : 録画用ディスクの映像を USB メモリーまたは USB HDD にバックアップするためのバックアップメニューに入ります。


D I S P L A Y : 映像の表示を分割表示に切り替えます。また、繰り返し押すことで分割方法を選択します。長押しでは画面自動切り替えを開始します。


Z O O M : ライブ及び再生映像を拡大表示します。





P / T / Z : 予定機能



④ ナビゲーションボタン

本機の各種メニューの操作をするためのボタンです。

M E N U (  ) : NVR の各種操作を実行するためのメニューに入ります。メニューに入っているときに押すとメニューから抜けます。


CANCEL/ESC (  ) : 各種操作を中止する時や、システム情報やログの表示画面を終了する時に使用します。

上下左右方向 ( ) : メニュー内等でカーソル移動に使用します。

DEC, INC (  ) : メニュー内等で、値の増減と選択に使用します。


O K : メニュー内等で、設定値を決定するときに使用します。


本機の録画と再生に関する制御ボタンです。





R E W (  ): 再生中に早戻し再生に切り替えます。押した回数によって 2 倍→4 倍→8 倍→16 倍に変化します。

**P L A Y** (▶): ライブモード中に再生に切り替えます。また、変速再生中の場合は通常速度の再生または逆再生に切り替えます。

**F F** (**⏮**): 再生中に早送り再生に切り替えます。押した回数によって 2 倍→4 倍→8 倍→16 倍に変化します。

R E C (  ): 録画を開始します。

LOGIN/OUT (  ): 管理者または管理者またはユーザーで本機にログインまたはログア

STEP (   ): 再生中にコマ送り及び逆コマ送りに切り替えます。コマ送りは1回押す毎に1コマ進みますので、再生中に1度だけ押すことで一時停止として機能します。時間検索ウィンドウ内では  でバックアップ開始時刻を、  でバックアップ終了時刻を指定します。

映像を映すチャンネル番号の選択や設定メニュー内での数値や文字の入力等に利用します。

カメラタイトル等の文字入力に使用する場合、下表のように、押した回数によって、入力する文字を選択します。

番号	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
1	a	b	1	A	B	1
2	c	d	2	C	D	2
3	e	f	3	E	F	3
4	g	h	4	G	H	4
5	i	j	5	I	J	5
6	k	l	6	K	L	6
7	m	n	7	M	N	7
8	o	p	8	O	P	8
9	q	r	9	Q	R	9
10/0	s	t	0	S	T	10
11	u	v	U	V		
12	w	X	W	X		
13	y	z	Y	Z		
14	.	@	.	@		
15	-		-			
16	スペース					

## 4. マウス制御

この IP NVR は、マウスで制御することができます。使用前に USB ポートにマウスを接続します。

### ① 左ボタン

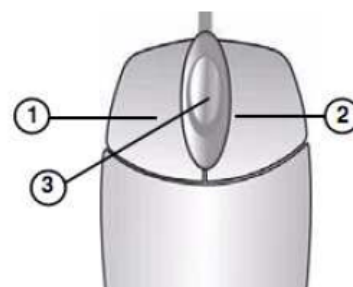
分割表示の場合に、映像部分をダブルクリックすると、そのチャンネルが全画面表示になります。もう一度ダブルクリックすると元の分割表示に戻ります。

### ② 右ボタン

マウスポインターの位置に関係なく、クリックするとメインメニューを表示します。メニューが表示されている状態でクリックすると、変更を保存せずにメニューを終了します。

### ③ スクロールホイール

メニューオプションを選択した状態でスクロールホイールを上下させると、値が増減します。



## 5. マウス制御用バーチャルキーボード

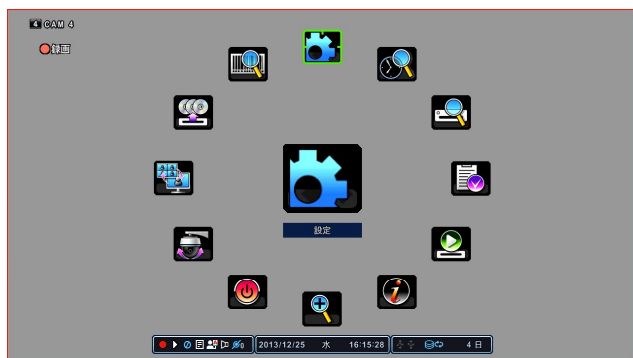
本機は、マウスによる文字入力のために画面上のバーチャルキーボードを利用できます。使用前にマウスを USB ポートに接続します。



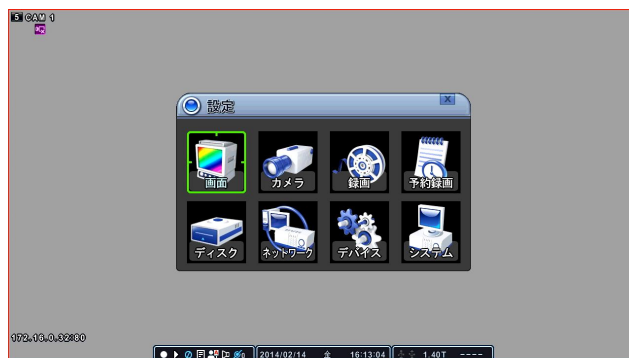
上図の例で○印で囲ったような、入力欄の右側に  ボタンのある項目で、バーチャルキーボードを利用できます。

## 6. リモコンとマウスの操作の違い

操作の内容	リモコン	マウス
メインメニューの呼出し	ライブまたは再生中に MENU ボタン	ライブまたは再生中に 右クリック
メニュー内のカーソル移動	方向 ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで移動	マウスポインターの移動
チェックボックスの チェック <input checked="" type="checkbox"/> と解除 <input type="checkbox"/>	チェックボックスの位置にカー ソルを合わせて OK ボタン	チェックボックスを左クリック
ラジオボタンの選択 <input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ	ラジオボタンにカーソルを合わ せて + - ボタンで選択	選択するラジオボタンをクリッ ク
スピンボタン  2 選択  2 非選択	スピンボックスの位置にカーソ ルを合わせて + - ボタンで増 減または値の選択	スピンボックスを左クリックで 選択した後、左右の + - ボタ ンを左クリックで増減または値 の選択。あるいは選択状態でホ イールを回転
テキストボックスの入力 	テキストボックスの位置にカー ソルを合わせて 1 ~ 16 の番号 ボタンで文字入力	テキストボックス右の  アイコ ンを左クリックしてバーチャル キーボードを表示させ、バーチ ャルキーボードで入力
イベント編集の呼出し	 アイコンにカーソルを合わ せて OK ボタンを押す	 アイコンを左クリック
設定を保存してサブメニューから 設定メニューに戻る	カーソルを 保存 ボタンに合わ せて OK ボタンを押す	ウインドウ右下の 保存 ボタン を左クリック
設定を保存せずにサブメニューか ら設定メニューに戻る	CANCEL/ESC ボタンを押す	ウインドウ右上の × ボタンを 左クリック



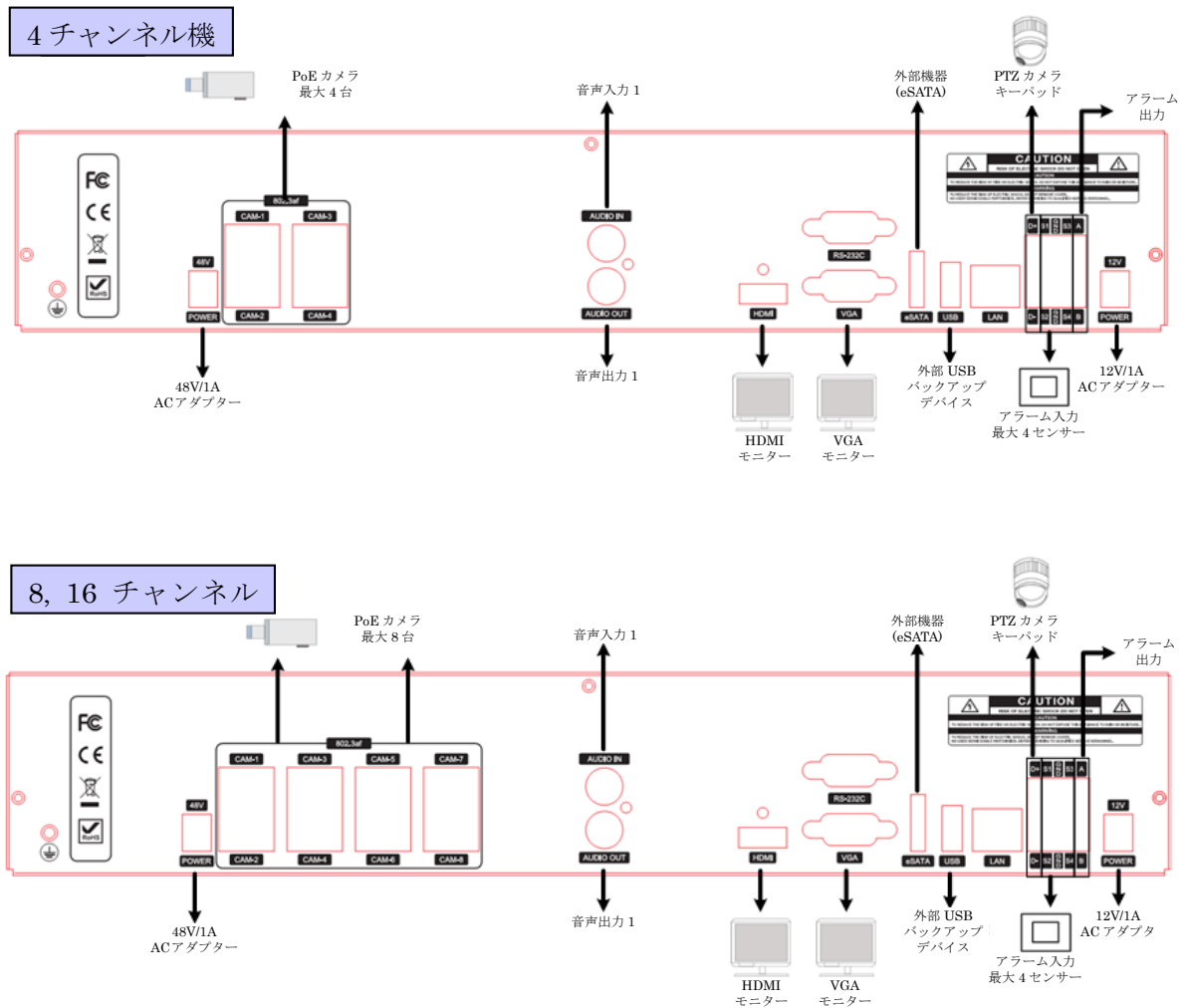
メインメニュー



設定メニュー

## II 設置&接続

### 1. 周辺機器の接続



最大 8 台までの本機専用の IP カメラは IPCAM ポートに接続することで、カメラの DC ジャックへの電源供給と TCP/IP に関する複雑な設定をすることなくご利用いただけます。(4 チャンネル機では 4 台まで)

9～16 台目までのカメラは、一般的なネットワークカメラ同様に LAN ポートに接続して TCP/IP の設定及び電源供給が必要です。

### III クイックスタートページ



管理者の初期パスワードは「000000」です。



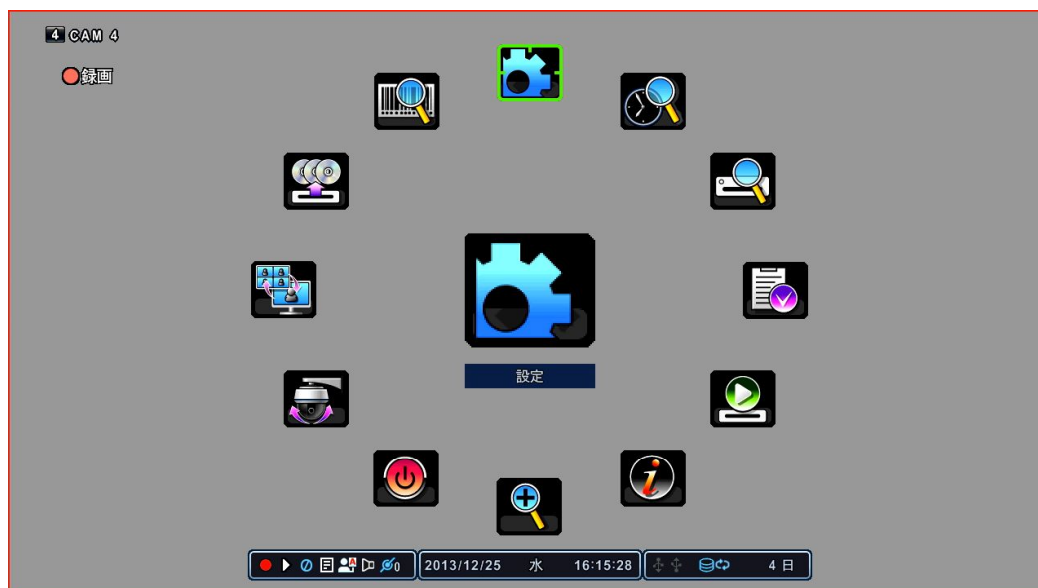
EMS2 ソフトに初期設定された起動用のユーザーID は「admin」、パスワードは「0」です。

<注意> EMS2 ソフトウェアは、APP バージョン 1.3.8.1 以降のものを使用してください。

## 1. メインメニュー

メインメニューのそれぞれのアイコンは、NVR の設定または操作のショートカットとして動作します。

希望のメニューを選択するには、リモコンまたはマウスを使います。



## 2. 電源の入／切と再起動

本機は、付属の AC アダプターを接続し、電源コードをコンセントに接続するだけで、自動的に電源が入り、起動します。

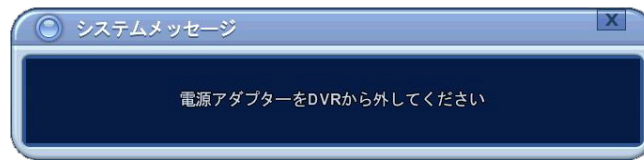
電源を切る必要がある場合は、リモコンの **POWER** (電源) ボタンを押すか、メインメニューから「電源」を選択します。



上図右上のログインウィンドウが現れたら、パスワードを入力すると、電源を切ることが出来る状態になります。上図の右下のようなメッセージが表示された場合は、録画を停止してから電源を切る操作を再度実行してください。

電源を切ることが出来る状態になると、以下のメッセージが表示されますので、AC アダプターの DC プラグを本機から抜くか、電源プラグをコンセントから抜いてください。





もう一度電源を接続すると、本機を起動することが出来ます。

#### <注意>

- リモコンの電源ボタンは、本機の状態を安全に電源を切ることが出来るようにするためのものです、電源を入／切することは出来ません。
- 上記の「電源アダプターを DVR から外してください」表示が出ていない状態で電源プラグや DC プラグを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 誤って電源を切ることが出来る状態にしてしまった場合は、一旦電源プラグをコンセントから抜いて 10 秒程度待ってから差し込んでいただくことで、再起動できます。

## 3. 日付と時刻の設定

購入後、はじめて NVR の電源を入れたとき、本機の他の操作をする前に、日付と時刻を設定することが重要です。NVR の日付と時刻を設定については 68 ページの「日時設定」を参照してください。

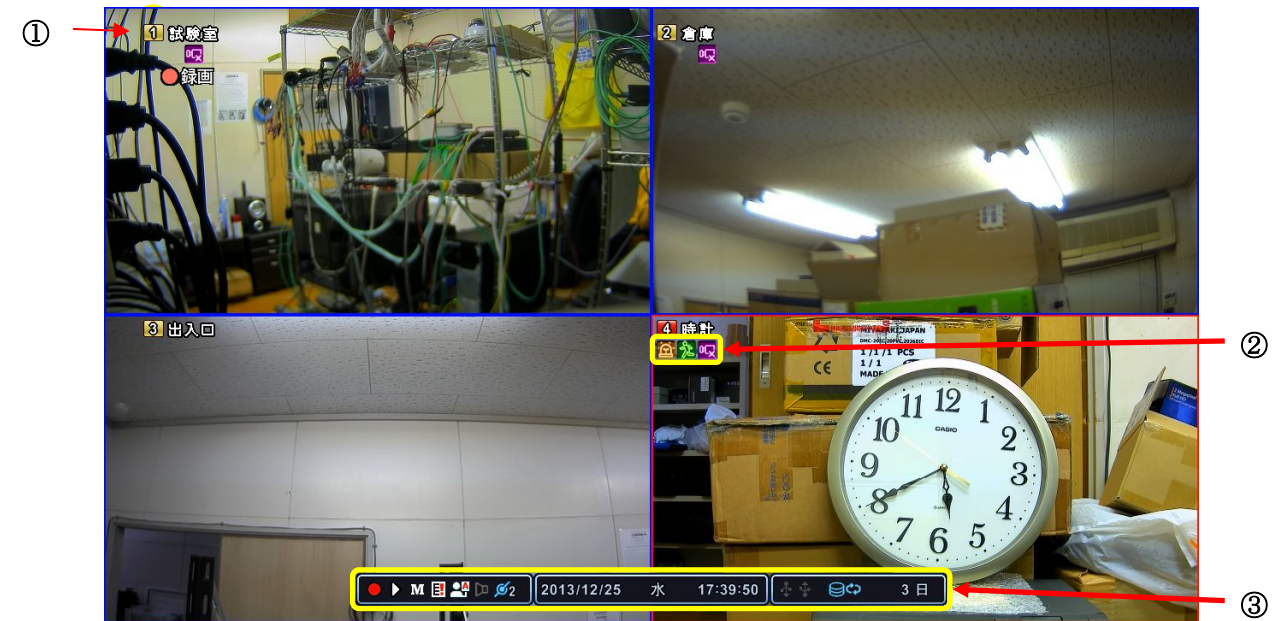


## 4. ネットワーク接続用 PC のシステム条件

	推薦動作条件
OS	Window 7 SP1
CPU	Quad core i5 (空きリソース 95% 以上)
RAM	4GByte (空き物理メモリー 700MByte)
ビデオカード	PCI-E メモリー256MByte
解像度	1600×1200(1920×1080) 2 モニター
DirectX	DX 9.0 サポート
ネットワーク	Giabit Ethernet LAN
HDD	空き容量 40GByte

# IV ライブ監視

## 1. 表示概要



### ① 録画モード

チャンネル番号の背景色は、以下の録画状態を示します。

番号の色	状態
1	黒 録画していない状態
2	黄 連続録画中
3	緑 イベント(モーション/アラーム) 録画中

### ② イベントインジケータ

(1) (2) (3)



画面に表示されるアイコンは、それぞれ以下のような状態を示します。

#### (1) アラーム表示

各カメラのアラーム入力端子がアラームセンサーによってトリガされている状態であることを示します。

#### (2) モーション表示

各カメラが被写体の動きを検出している状態であることを示します。


#### (3) ビデオロス表示


カメラからの映像が途切れたことを示します。☐ CANCEL/ESC ボタンを押すと消すことができます。

### ③ ステータスバー





#### (1) 録画状態表示及びマウスによる録画の開始と停止

 : 録画停止中は白色で表示します。

 : 録画中は赤色で表示します。


#### (2) 再生状態表示及びマウスによる再生の開始と停止


 : 再生停止中（現在の映像が表示されている状態）は白色で表示します。

 : 再生中は緑色で表示します。


#### (3) メニュー及び取消の状態表示及びマウスによるメニューの開始と終了。


本体の **MENU/ESC** ボタンと同様に動作をします。

 : この状態の時はメニューを呼び出します。

 : この状態の時はメニュー画面等で変更を保存せずに終了します。

#### (4) ログの状態表示及びマウスによるシステムログ表示。


 : 通常時はこのアイコンが表示されています。


 : 本機以外の操作によって、本機に登録されている IP カメラの設定が変更された場合、ログアイコンに赤いエクスクラメーションマーク「！」が表示されます。

#### (5) ログイン状態表示及びマウスによるログインとログアウト

この部分をマウスで左クリックすることで、ログインとログアウトを切り替えます。

また、アイコンの種類によってログインとログアウトの状態を示します。


 : ログアウト状態(ログインしていない状態)


 : 管理者権限でログインしている状態

 : 一般ユーザー権限でログインしている状態

#### (6) 音声

再生中に音声データが保存されているか保存されていないかを表示します。

 : 音声データが保存されていない場合、白色で表示されます。

 : 音声データが保存されている場合、水色で表示されます。

#### (7) ネットワーククライアント数

ネットワークを通して DVR に接続しているクライアント数を表示します。

#### <情報>

NVR への遠隔監視・再生・ダウンロードのための同時接続数の合計は 10 接続です。

#### (8) 日時

ライブ映像を表示しているときには、現在の日時を表示します。録画された映像を再生しているときには、その映像が録画された日時を表示します。

## (9) USB

USB ポートの使用状態を示します。左側のアイコンが前面パネルコネクタ、右側のアイコンが背面パネルコネクタの状態を表示します。



- : USB 機器が認識されていない場合、灰色で表示します。
- : USB 機器が認識されている場合、白色で表示します。
- : USB 機器に録画映像をバックアップ中の場合、水色で表示します。

## (10) HDD 状態

HDD の使用状態を表示します。

- : HDD に空き容量がある場合、その容量を数値で表示します。
- : HDD に空き容量がなくなり上書き録画状態の場合、リサイクリングマークを表示します。

## (11) 録画可能日数

現在録画中の録画データレートで、そのまま録画を継続した場合に HDD に録画可能な目安期間を表示します。

### <注意>

ステータスバーに表示される録画期間の目安は、数十秒間の短い期間の録画データ量をもとに計算されており、実際の環境では時間帯等の条件によって被写体の動きやカメラのノイズ量が変わりますので、実際の録画可能日数とは大きく異なる日数が表示される事があります。

## ④ 再生コントロールバー

再生コントロールバーは、本機にマウスが接続された状態で再生モード中にのみ、ステータスバーの上に表示されます。

ここに表示されるアイコンをマウスでクリックして使用します。







### (1) 停止

再生を停止してライブ表示の状態に戻ります。

### (2) 早戻し

早戻し再生をします。1回クリックする毎に 2→4→8→16 倍速に変化します。

- (3) 逆コマ送り   
逆（戻し方向）にコマ送りします。
- (4) 再生／逆再生   
再生と逆再生をします。1回クリックする毎に 再生→逆再生→再生→逆再生→… と繰り返します。
- (5) コマ送り   
コマ送りします。（送り方向）
- (6) 早送り   
早送り再生をします。1回クリックする毎に 2→4→8→16 倍速に変化します。

#### <情報>

再生・逆再生・早送り・早戻し中に **一時停止**（静止画再生）したい場合は、コマ送りまたは逆コマ送りをクリックしてください。

#### <注意>

- **逆コマ送り** では、全てのフレーム（コマ）を表示する事は出来ません。逆コマ送りを使って見たいフレームに行く場合は、一旦通り過ぎた後に **コマ送り** で目的のフレームに移動してください。
- **逆再生** では、全てのフレームを再生することは出来ません。飛び飛びの映像になります。
- 再生を始めた後にマウスを接続しとも、再生コントロールバーは表示されません。一旦ライブモードに戻ってから再度再生操作を実行することで再生コントロールバーが利用できるようになります。

## 2. 分割画面表示および画面自動切り替え

### 1. 1画面表示

リモコンの数字ボタンで、希望するカメラのチャンネル番号を押すことで、選択されたカメラを全画面表示にすることが出来ます。また、分割画面の状態でもウスを使用している場合は、対象のカメラ映像の部分ダブルクリックすることで全画面表示にすることが出来ます。



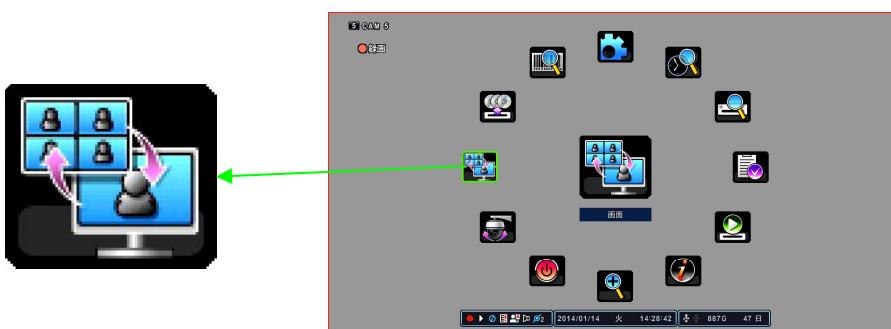
## 2. 分割画面表示及び画面自動切換表示

- 1) リモコンの **DISPLAY** ボタンを押すことで、分割画面表示にすることが出来ます。また、このボタンを複数回押すことで、「画面設定」内の「画面分割設定」で予め選択されている分割方法の中から、表示させたい分割方法を選択する事ができます。

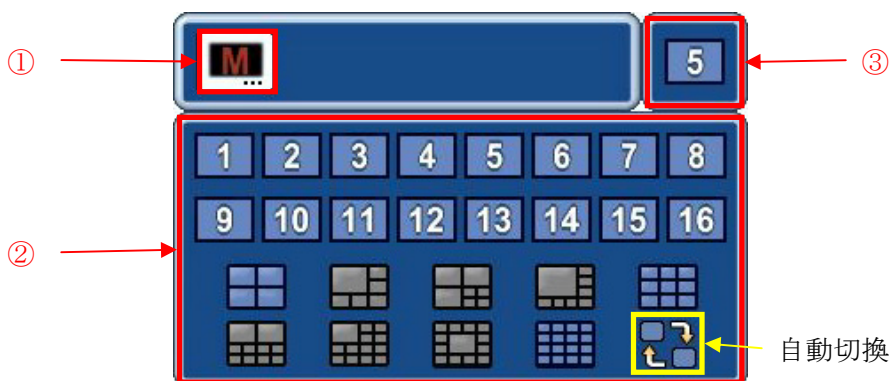


左の設定例では、4 分割, 9 分割, 16 分割を利用することが出来ます。

- 2) 画面自動切り替えを実行するには、DISPLAY ボタンを長押しします。(2 秒間)  
リモコンの **SPOT OUT** ボタンまたはメインメニューから「画面」メニューを選択します。



バーチャルコントローラが表示されます。



### ① 画面選択

表示チャンネルまたは分割方法を選択する映像出力の系統を表示します。本機ではスポット出力がありませんのでメインモニター **M** のみで、変更は出来ません。

### ② 表示方法選択

個別のチャンネルまたは分割方法を選択することが出来ます。上記の「画面分割設定」で許可されていない分割方法は灰色で表示され、選択することは出来ません。

### ③ 状態表示

選択されているチャンネルまたは分割方法あるいは自動切り替えの状態を表示します。

#### <情報>

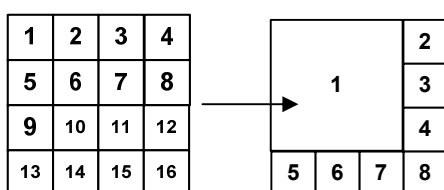
- マウスを利用してこの機能にアクセスする場合、メインメニューから「画面」を選択する方法でご利用ください。
- 画面自動切替の停止時間はメインメニューから **設定**→**画面**→**画面自動切替設定**→**画面切替時間** で設定することができます。詳細は 30 ページの「画面自動切替設定」をご覧ください。

## 3. 分割画面表示のクイックボタン

### 3. 分割方法の簡単変更

リモコンの **F1** ボタンを押し、次に 数字 ボタンを押します。

例： **F1** ボタンの次に数字 **8**









この例では 8 分割モードになります。

#### <注意>

この機能を利用するには、「画面分割設定」で予め指定した分割数の分割モードがチェックされていなければなりません。 **参照**→29 ページ

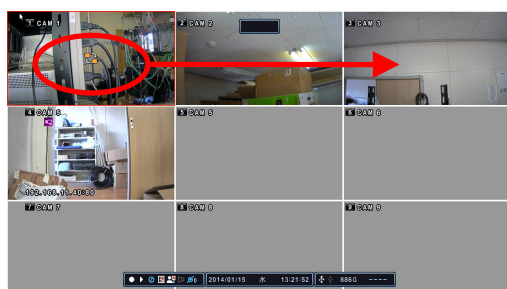
### 4. 画面移動

本機の分割画面表示は、4, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 16 分割が利用可能で、各チャンネルの表示位置を入れ替えることができます。画面移動はマウスのドラッグ&ドロップで操作します。

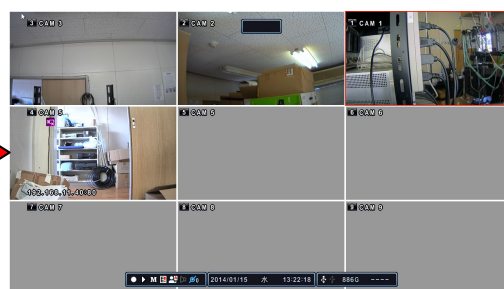
- ① リモコンの **F2** ボタンを押すと  マークが表示されます。
- ② 方向ボタン     で入れ替えたいチャンネルの片方に  マークを移動します。
- ③ 入れ替えたいもう片方のチャンネルを数字ボタンで指定します。
- ④ **OK** ボタンを押すと、変更を保存します。

**CANCEL/ESC** ボタンを押すと、変更を保存せずに戻ります。

以下の例は 1 と 3 の表示位置を入れ替えた例です。



位置変更前

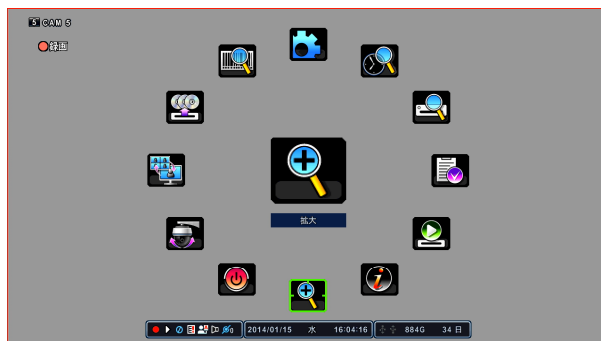


位置変更後

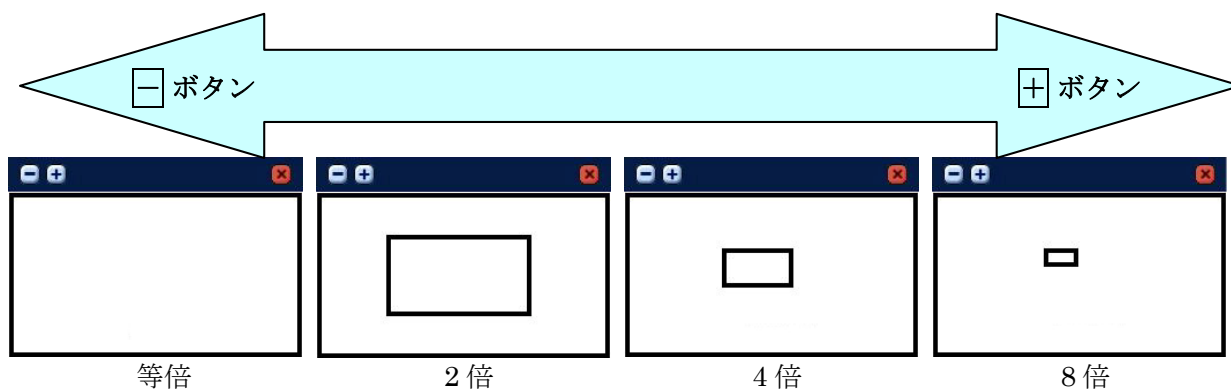
## 4. ズーム

ライブモードおよび再生モード中、画面の一部を拡大することが出来ます。

- ① デジタルズームを有効にするには、拡大したいカメラを全画面表示の状態にします。
- ② メインメニューで「ズーム」を選択するか、リモコンの **ZOOM** ボタンを押します。



下図のようなズームエリアボックスがポップアップ表示されます。



- ③ ▲▼◀▶ (方向) ボタンを使って拡大したい位置にボックスを移動します。
- ④ 画像の倍率を上げるには **+** ボタンを押します。倍率を下げるには **−** ボタンを押します。
- ⑤ **CANCEL/ESC** ボタンを押すと通常のモードに戻ります。

### <情報>

- 分割画面表示のときに **ZOOM** ボタンを押すと、赤枠で囲われているチャンネルを拡大表示します。
- 分割画面表示の時に赤枠で囲われるチャンネルは **+** **−** ボタンで変更することが出来ます。



# V 基本操作

## 1. ログイン・ログアウト

NVR を操作するには、適切なユーザーとパスワードで NVR にログインしなければなりません。この NVR は、工場出荷時には、1 つの管理者ユーザーのアカウントが予め設定されています。







(ユーザー名: “admin” パスワード: “000000” )



### <注意>

- 本機を設置したら、管理者パスワードはお客様自身の新しいパスワードを設定してください。
- 初期設定されたパスワードのままで使用を継続しても、本機にはそれを警告する機能がありません。
- 管理者パスワードは「システム」メニューの **ユーザーアカウント** タブ内で変更することができます。

**参照** → 69 ページ

### 1. ログイン

- ① リモコンの  ボタンを押します。マウスの場合はツールバーのログイン状態アイコン  を左クリックします。
- ② ログイン画面が表示されたら、 ボタンでユーザーを選択してからパスワードを入力します。
- ③ パスワードが正しいことが確認されると、左下のツールバーに  または  のアイコンが表示され、許可された操作が可能になります。







アイコン	説明
	管理者としてログインしている状態です。
	その他のユーザーとしてログインしている状態です。

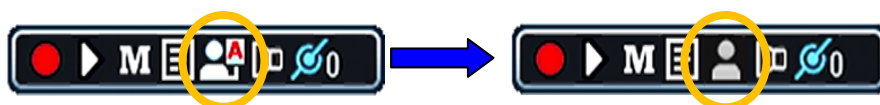
本機は、管理者を含む最大 11 人のユーザーアカウントを設定することができます。管理者は本機の全ての操作が可能です。管理者以外のユーザーに与える操作権限の範囲については、管理者が設定することができます。本機の工場出荷時には、管理者のアカウントだけが予め設定されています。

初期設定された管理者アカウント

ユーザー名称	admin
初期設定パスワード	000000

### 2. ログアウト

- ① ログインした状態からリモコンの  ボタンを押すことでログアウトできます。マウスの場合は  または  アイコンをクリックします。
- ② 左下のツールバーに表示されていた  または  アイコンが  に変化したことを確認します。



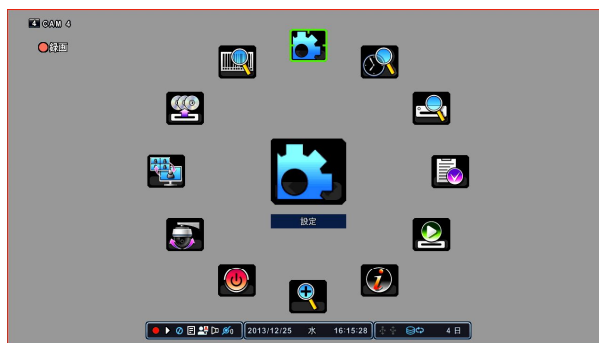
## 2. メニューの基本操作

- ① 管理者または設定レベルのユーザーとして NVR にログオンします。

### <注意>

管理者以外の権限では、「設定」メニューの「ディスク」及び「システム」メニューへのアクセスが制限されます。

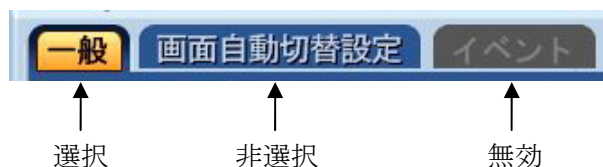
- ② リモコンで **MENU** ボタンを押します。マウスの場合は右クリックすると、メインメニューが現れます。



- ③ 適切なメニューを選択するにはリモコンの **◀ ▶** (方向) ボタンを使って希望のメニューを選択し **MENU** ボタンで決定します。マウスの場合は表示されているメニューのアイコンをクリックします。メインメニュー内では大きなサイズで中央に表示されているものが現在選択されている（カーソルまたはマウスポインターがある）メニューです。
- ④ メニューを選択しサブメニューを表示するにはリモコンの **OK** ボタンを押します。マウスの場合は左クリックします。
- ⑤ 設定メニュー内ではリモコンの **▲ ▼ ◀ ▶** でカーソル移動し **OK** ボタンで決定します。マウスの場合は、アイコンを左クリックします。



- ⑥ タブを選択するには◀▶ (左右) ボタンを使います。選択された項目はオレンジ色に変化します。



<情報> タブメニュー間を移動したときは、タブ内の変更が自動的に保存されます。

- ⑦ メニューは左側の欄に設定項目が、右側の欄に設定値が表示されます。カーソル（強調表示）はリモコンでは▲▼◀▶ (方向) ボタンを使って移動することが出来ます。
- ⑧ 値または選択肢を変更するにはリモコンで+ - ボタンを押します。マウスの場合は該当部分にマウスポインターを合わせてからホイールを回すか該当部分を左クリックします。

+ - ボタンで出来る操作例



- ⑨ 変更を保存してメニューを抜けるには、ENTER/ZOOM ボタンを押すか、保存 ボタンをクリックします。

変更を保存せずにメニューを抜けるにはリモコンの **CANCEL/ESC** ボタンを押します。マウスの場合は **×** をクリックします。

# VI 設定

この章では、設定メニューの詳細について記述します。表内の設定値の**強調**表示は、工場出荷時の初期値を意味します。

## 1. 画面

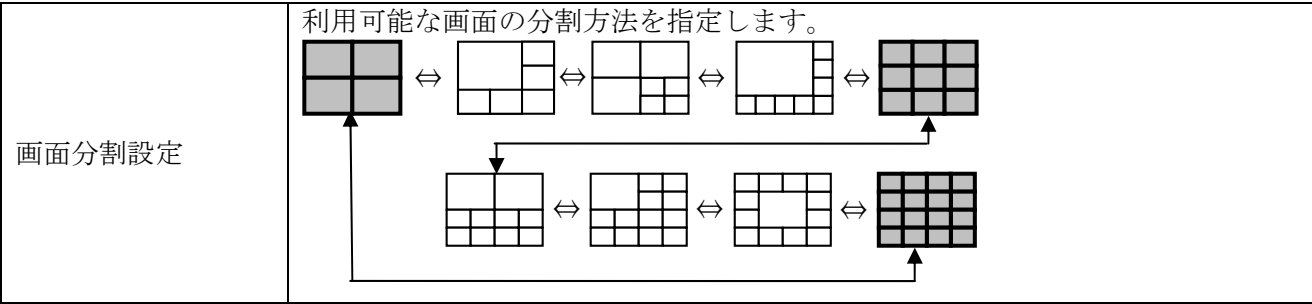
「画面」設定では、画面表示に関する設定ができます。

### 1. 一般



階層：メニュー→設定→画面→一般

項目	説明
ステータスバー	画面下のステータスバーの「表示」⇔「非表示」を切換えます。 
カメラ情報	カメラ番号と名称、それぞれのオンスクリーン表示の「表示」⇔「非表示」を切換えます。
画面分割線	割画面表示のとき、チャンネル間を分割する線の色を選択します。 [青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ ⇔ グレイ ⇔ 白]
背景色	映像がない状態のチャンネルに表示する背景色を選択します。 [青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ ⇔ <b>グレイ</b> ⇔ 白]
OSD 表示位置	モニター上に表示するツールバーなどのオンスクリーン表示の位置を選択します。 <b>アンダースキャン</b> ：PC 用モニターに適した表示位置になります <b>オーバースキャン</b> ：ビデオ用モニターやテレビに適した表示位置になります。 <b>&lt;注意&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用のモニターにアンダースキャン機能がある場合には、アンダースキャン状態で使用することをお勧めします。</li> <li>● この設定は OSD の表示位置は変更するもので、映像を表示する大きさを変える機能ではありません、モニターをオーバースキャン状態でご使用されますと、この設定を「オーバースキャン」に設定した場合でも映像の上下左右の一部が欠けた状態になります。</li> </ul>

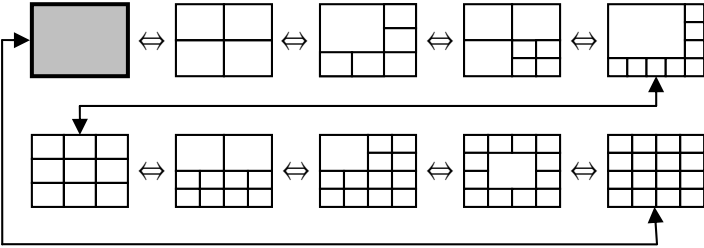


## 2. 画面自動切替設定



階層：メニュー→設定→画面→画面自動切替設定

項目	説明																																																																									
デバイス	メインモニターが設定対象であることを示します。(本機の場合、この項目を変更することは出来ません)																																																																									
画面切替時間	各カメラまたは分割画面をローテーションで自動切替え表示する場合に、ひとつの画面を表示し続ける時間を選択します。変更するには <input type="text" value="+"/> <input type="text" value="-"/> ボタンを使います。 1 秒～30 秒[初期設定： <b>5 秒</b> ]																																																																									
モード	分割画面表示の時の、画面自動切替えの表示方法を以下のように切り替えます。 <b>順次</b> ：分割数に応じて下図のように切り替えます。 <table><tr><td><table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="7"><small>画面切替時間</small></td></tr></table> <b>シフト</b> ：下図のようにチャンネル番号順で表示位置をスライドさせます。 <table><tr><td><table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="7"><small>画面切替時間</small></td></tr></table> <b>イベント</b> ：イベント発生チャンネルを左上に表示し、他をスライドさせます。 以下の例は、4 分割表示でチャンネル「3」でイベントが発生した場合。 <table><tr><td><table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table></td><td>→</td><td><table><tr><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>4</td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="2"><small>前    イベント    後</small></td></tr></table>	<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td></tr></table>	5	6	7	8	→	<table><tr><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td></tr></table>	9	10	11	12	→	<table><tr><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td></tr></table>	13	14	15	16	<small>画面切替時間</small>							<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td></tr></table>	2	3	4	5	→	<table><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table>	3	4	5	6	→	<table><tr><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td></tr></table>	4	5	6	7	<small>画面切替時間</small>							<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>4</td></tr></table>	3	1	2	4	<small>前    イベント    後</small>	
<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td></tr></table>	5	6	7	8	→	<table><tr><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td></tr></table>	9	10	11	12	→	<table><tr><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>15</td><td>16</td></tr></table>	13	14	15	16																																																				
1	2																																																																									
3	4																																																																									
5	6																																																																									
7	8																																																																									
9	10																																																																									
11	12																																																																									
13	14																																																																									
15	16																																																																									
<small>画面切替時間</small>																																																																										
<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td></tr></table>	2	3	4	5	→	<table><tr><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td></tr></table>	3	4	5	6	→	<table><tr><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>6</td><td>7</td></tr></table>	4	5	6	7																																																				
1	2																																																																									
3	4																																																																									
2	3																																																																									
4	5																																																																									
3	4																																																																									
5	6																																																																									
4	5																																																																									
6	7																																																																									
<small>画面切替時間</small>																																																																										
<table><tr><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4	→	<table><tr><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>4</td></tr></table>	3	1	2	4																																																																
1	2																																																																									
3	4																																																																									
3	1																																																																									
2	4																																																																									
<small>前    イベント    後</small>																																																																										

画面分割設定	画面自動切り替えのときに使用する画面の分割方法を以下の 8 種類から決定します。 
使用チャンネル	画面自動切り替えに含めるチャンネルを指定します。 初期設定： <u>全選択</u>

### 3. イベント

イベント タブは、画面自動切替設定 タブの「モード」の項目を「イベント」に設定した場合にだけ利用可能になります。

ここでは、自動切替えで表示させたいチャンネルに割り当てるイベントを指定します。



階層：メニュー→設定→画面→イベント

項目	説明
CH	イベントが発生したときに表示させるチャンネル番号。(値の変更はできません)
アラーム	それぞれのチャンネルを表示させるために使うアラーム入力を選択します。 <u>オフ</u> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
モーション	それぞれのチャンネルを表示させるために使うモーション検出チャンネルを選択します。 <u>オフ</u> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
ビデオロス	それぞれのチャンネルを表示させるために使うビデオロス検出チャンネルを選択します。 <u>オフ</u> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
システム	それぞれのチャンネルを表示させるために使う本機のセンサー入力チャンネルを選択します。 <u>オフ</u> ⇄ SENSOR 1 ⇄ SENSOR 2 ⇄ SENSOR 3 ⇄ SENSOR 4 ⇄ 全て
※	より詳細な設定のために「イベント編集」ウインドウを開きます。 イベント編集の使用方法については 33 ページの「イベント編集」を参照してください。



## 例 1

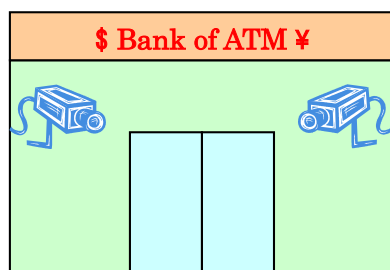
チャンネル 3 でモーションを検出したときに、チャンネル 3 の映像を表示する例

これは、最も一般的な設定例の一つです。



## 例 2

チャンネル 1 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 2 を表示し、チャンネル 2 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 1 を表示する例



このような設定は、左図のように 2 台のカメラを向かい合わせにして、カメラへの悪戯を監視したい場合等に利用できます。

#### 4. イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、**イベント** タブ 1 行分の情報を、より詳細に編集することができます。それぞれの対応関係は下図のようになります。



階層：メニュー→設定→画面→イベント→イベント編集

例

チャンネル 1 またはチャンネル 2 のアラーム入力トリガされたときにチャンネル 1 を表示します。



この状態で、元の **イベント** タブに戻ると、チャンネル 1 のアラーム欄は「※」になっていることが確認できます。





## 5. イベントによる画面自動切替え処理の流れ



## 2. カメラ

「カメラ」メニューでは、本機と各 IP カメラの接続に関する設定をします。また、このメニューから各カメラの設定に入ることが出来ます。



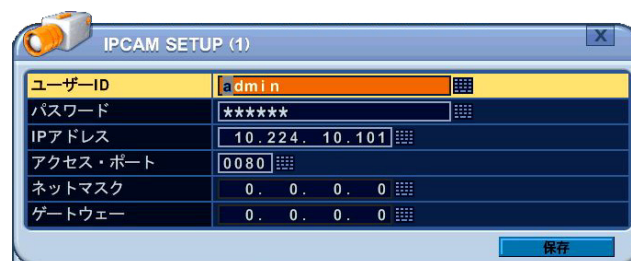
階層：メニュー→設定→カメラ

項目	説明
接続	<p>本機と I 接続する IP カメラの接続方法を指定します。</p> <p><b>自動</b>：本機の「IP CAM」端子に本機の専用 IP カメラを接続する場合に選択することによって、カメラの IP 設定を完全に自動化することが出来ますので、IP カメラをアナログカメラ感覚で接続できます。</p> <p>手動：IP カメラの IP 設定を手動で設定する場合に選択します。IP カメラを「IPCAM」ポートにハブ経由で接続する場合や LAN ポートに接続する場合に選択します。</p>
プロトコル	<p>本機と IP カメラの間で使用する通信プロトコルを選択します。</p> <p><b>デフォルト</b>：本機の専用カメラ用のプロトコルを使用します。</p> <p><b>ONVIF</b>：ONVIF プロトコルを使用します。(予定機能)</p> <p>&lt;情報&gt;</p> <p>ONVIF は「接続」項目で「手動」が選択されている場合に選択できます。</p>

カメラタイトル	カメラタイトルとしてカメラの設置場所等を登録できます。 利用可能な文字数は半角英数 20 文字以内です。(EMS からの遠隔登録の場合、 全角 10 文字まで可能)
IP 情報	<p>「接続」の項目で「手動」を選択した場合に、IP カメラの IP アドレスを表示します。また、「設定」ボタンをクリックすると「IP SETUP」ウインドウを開くことが出来ます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <p>&lt;情報&gt;</p> <p>「IPCAM SETUP」ウインドウでは IP カメラにログインするための IP アドレス、ID、パスワード等の認証情報を設定できます。</p> </div>
設定	<p>リモコンの場合「設定」ボタンにカーソルを合わせて <b>+</b> または <b>-</b> ボタンを押します。マウスの場合「設定」をクリックすると「IPCAM SETUP」ウインドウを開きます。</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <p>&lt;情報&gt;</p> <p>「IP SETUP」ウインドウでは、IP カメラの設定を変更することが出来ます。</p> </div>
PTZ	PTZ カメラを設定するためのウインドウを開きます。(予定機能)

## 1. IPCAM SETUP

「IPCAM SETUP」では、個別の IP カメラへのアクセ設定をします。



階層：メニュー→設定→カメラ→IPCAM SETUP

項目	説明
ユーザーID	IP カメラにログインするためのユーザーID を入力します。
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを入力します。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。
アクセス・ポート	IP カメラのポート番号を入力します。
ネットマスク	入力できません。(予定機能)
ゲートウェー	入力できません。(予定機能)

## 2. IP SETUP

「IP SETUP」では、カメラの画質に関する設定等、IP カメラ自体の設定を遠隔設定します。

## 1. 情報

「情報」では接続されているカメラのシステム情報を表示します。

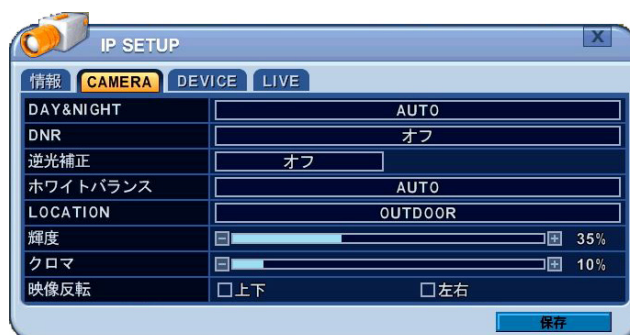


階層：メニュー→設定→カメラ→IP SETUP→情報

項目	説明
モデル情報	カメラの種類を示す情報を表示します。
ホスト名	カメラのホスト名を表示します。
状態	カメラの状態を表示します。
バージョン	カメラのファームウェアバージョンを表示します。

## 2. CAMERA

「CAMERA」ではカメラの映像に関する設定をします。



階層：メニュー→設定→カメラ→IP SETUP→CAMERA

項目	説明
DAY&NIGHT	カメラのデイナイト制御の動作を選択します。 <b>AUTO</b> ：被写体が明るい場合にはカラーで、暗い場合には白黒で撮影します。 デ イ：被写体の明るさに関係なくカラーで撮影します。 ナイト：被写体の明るさに関係なく白黒で撮影します。
DNR	カメラのノイズ低減機能の動作を選択します。 オ フ：ノイズ低減機能を使用しません。 低画質：効果の弱いノイズ低減機能を使用します。 <b>中画質</b> ：効果が中程度のノイズ低減機能を使用します。 高画質：効果の強いノイズ低減機能を使用します。
逆光補正	カメラの逆光補正機能の動作モードを選択します。 <b>オ フ</b> ：逆光補正機能を使用しません。 WDR：逆光補正機能を WDR（ワイドダイナミックレンジ）モードにします。 BLC：逆光補正機能を BLC（従来の逆光補正）モードにします。

ホワイトバランス	<p>カメラのホワイトバランスの動作モードを選択します。</p> <p><b>A U T O</b> : ホワイトバランスを自動調整モードにします。</p> <p>AUTO HIGH : ホワイトバランスを AUTO よりやや高めの色温度に設定します。</p> <p>AUTO LOW : ホワイトバランスを AUTO よりやや低めの色温度に設定します。</p> <p>AUTO EXT : 予定機能</p>
LOCATION	<p>カメラの露出制御モードを選択します。</p> <p><b>OUT DOOR</b> : カメラの露出制御を屋外撮影に適した動作にします。</p> <p>IN DOOR : カメラの露出制御を屋内撮影に適した動作にします。</p>
輝度	撮影映像の明るさを調整します。調整範囲 0 ～ <b>55</b> ～ 100
クロマ	撮影映像の色の濃さを調整します。調整範囲 0 ～ <b>40</b> ～ 100
映像反転	<p>映像の反転機能の使用を選択します。</p> <p>上      下 : チェックボックスをチェックすると上下反転します。</p> <p>左      右 : チェックボックスをチェックすると左右反転します。</p>

### 3. DEVICE

「DEVICE」ではカメラのアラーム関連の設定をします。



階層 : メニュー → 設定 → カメラ → IP SETUP → DEVICE




項目	説明
モーション	リモコンの場合 <b>設定</b> ボタンにカーソルを合わせ <b>+</b> または <b>-</b> ボタンを押します。マウスの場合 <b>設定</b> を左クリックすると、モーション設定用のウインドウが開きます。
ズーム	予定機能
アラーム	<p>カメラのアラーム入力の動作モードを選択します。</p> <p>オフ : アラーム入力機能を停止させます。</p> <p>N.C. : アラーム入力をノーマルクローズモードで動作させます。</p> <p><b>N.O.</b> : アラーム入力をノーマルオープンモードで動作させます。</p>

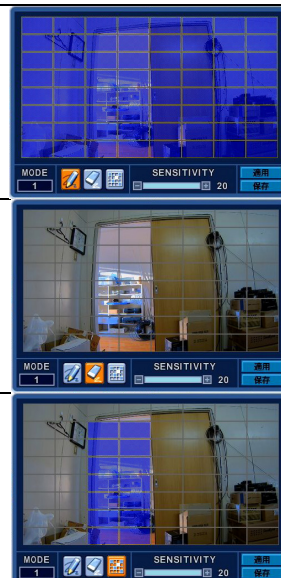
## モーション設定用のウインドウについて

IP カメラシステムでは、モーション検出動作はレコーダ側ではなくカメラ側で実行されます。従ってこの設定はカメラの遠隔設定という形で実行されます。



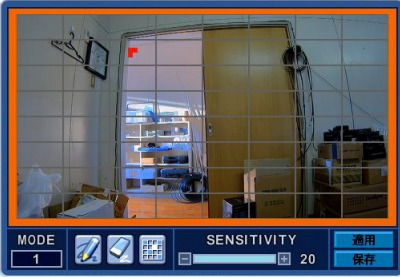
階層：メニュー→設定→カメラ→IP SETUP→DEVICE→モーション





項目	説明
モード	本機の専用カメラは、最大 4 箇所までの長方形のエリアをモーションエリアとして指定可能です。ここでは、これから設定しようとするエリアの番号を 1 ～ 4 から選択します。
 鉛筆アイコン	<p>全てのエリアを検出エリアにします。</p> <p>リモコンの場合は、カーソルを合わせて <b>+</b> または <b>-</b> ボタンを押します。</p> <p>マウスの場合はアイコンを左クリックします。</p>
 消しゴムアイコン	<p>全てのエリアを検出エリアから除外します。</p> <p>リモコンの場合は、カーソルを合わせて <b>+</b> または <b>-</b> ボタンを押します。</p> <p>マウスの場合はアイコンを左クリックします。</p>
 グリッドアイコン	<p>検出エリアとして長方形のエリアを選択できます。</p> <p>リモコンの場合は、<b>+</b> ボタンでエリア指定モードになり、<b>-</b> ボタンで元に戻ります。</p> <p>マウスの場合は、アイコンを左クリックすることで、エリア指定モードに入ります。</p> <p>エリアの指定方法は枠外の説明を参照してください。</p>
SENSITIVITY	<p>上で選択したモード毎にモーション感度を調整します。</p> <p>リモコンの場合は <b>+</b> <b>-</b> ボタンで値を増減させます。</p> <p>マウスの場合はスライダーの左右にある <b>+</b> <b>-</b> を左クリックして値を増減させます。</p>
適用 ボタン	設定変更を適用して作業を継続します。
保存 ボタン	設定変更を保存してモーション設定を終了します。











グリッドを選択した場合のモーションエリアは以下のように指定します。







リモコンの場合は、    
 ボタンでカーソル移動し、  
 検出エリアの左上にしたい場  
 所で OK ボタンを押します。




リモコンの場合は、    
 ボタンでカーソル移動し、  
 検出エリアの右下にしたい場  
 所で OK ボタンを押します。



リモコンの場合は  ボタン  
 を押した後、 ボタンにカ  
 ーソルを合わせ  または   
 ボタンを押します。

マウスの場合は、エリアの左上に指定したい場所で左ボタンを押  
 し、そのままの右下に指定したい場所までマウスポインターを移  
 動してから左ボタンから指を離します。

マウスの場合は、 ボタン  
 を左クリックします。

#### 4. LIVE

「LIVE」では IP カメラのデータトラフィック制御に関する設定をします。



階層：メニュー→設定→カメラ→IP SETUP→LIVE

項目	説明
PRIORITY	カメラの通信トラフィック調整で何を優先するかを指定します。 <b>NETWORK SPEED</b> ：ネットワークのスピードは速いですが、画質が低下しま す <b>IMAGE QUALITY</b> ：ネットワークスピードは遅いですが、画質は良くなりま す。

### 3. 録画

#### <重要>

ネットワークビデオレコーダの録画動作は、IP カメラの設定を操作しながら IP カメラと緻密な連携動作をすることで実現されております。従いまして、他の PC やネットワークビデオレコーダから IP カメラの設定が不用意に操作されるような環境下での使用は避けてください。

特に、IPCAM ポートではなく、LAN ポートに IP カメラを接続する場合のように、他の機器と IP カメラが同一のネットワークを共用するようなシステムでは十分に注意していただきますようお願い致します。

#### 1. 一般

「一般」では、録画の基本設定をします。



階層：メニュー→設定→録画→一般

項目	説明
予約録画使用	予約録画機能を使用するかしないかを選択します。 <b>オフ</b> ：予約録画機能を使用しません。 <b>オン</b> ：予約録画機能を使用します。
起動時録画	本機の電源を入れた時に自動的に録画を開始するかしないかを選択します。 <b>オフ</b> ：起動時に自動的に録画を開始しません。 <b>オン</b> ：起動時に自動的に録画を開始します。
上書き録画	録画用 HDD の容量が満杯になった場合に、古い映像から順に削除しながら上書き録画をするかしないかを選択します。 <b>オフ</b> ：録画用 HDD が満杯になった場合、録画を停止します。 <b>オン</b> ：録画用 HDD が満杯になった場合、最も古い映像から順に削除しながら新しい映像の録画を続けます。
自動削除	録画用 HDD の容量に余裕がある場合でも、指定した期間が経過した映像を自動的に削除する期間を選択します。 <b>無し</b> ⇔ 12 時間 ⇔ 1 日 ⇔ 2 日 ⇔ 3 日 ⇔ 4 日 ⇔ 5 日 ⇔ 6 日 ⇔ 1 週間 ⇔ 2 週間 ⇔ 3 週間 ⇔ 4 週間 ⇔ 30 日 <b>&lt;情報&gt;</b> 「無し」を選択した場合、自動削除は実行されません。
事前録画	イベント録画時にイベント前に録画する時間を秒数で指定します。 <b>5 秒</b> ～ 300 秒（5 秒刻みで指定可能）



事後録画	イベント録画時にイベント後に録画する時間を秒数で指定します。 5 秒, <b>10 秒</b> ~ 300 秒（5 秒刻みで指定可能）
------	--

### <注意>

- 「予約録画使用」をオンにしなければ、「ナイト」及び **ナイトイベント** タブへはアクセスできません。
- 「予約録画使用」がオフの場合、「デイ」及び **デイベント** タブの録画設定が自動的に適用されます。
- 「予約録画使用」をオンにし、予約録画のスケジュールが何も登録されていない状態では、**ナイト** 及び **ナイトイベント** タブの録画指定が適用されます。
- 予約録画機能に関して詳しくは「予約録画」のページをご覧ください。 **参照**→45 ページ

## 2. デイ

**デイ** タブでは、予約録画がオフの場合及び予約録画で「デイ」が指定されている時間帯に適用する録画設定を登録します。



階層：メニュー→設定→録画→デイ

項目		説明
CH.		設定対象のチャンネル番号を表示します。
解像度		録画の解像度を指定します。 CIF ⇄ D1 ⇄ <b>720P</b> ⇄ SXGA ⇄ 1080p
オーディオ		音声を録音するかどうかを選択します。 <b>オフ</b> ：音声を録音しません。 オン：音声を録音します。
常時録画	F/S	常時録画時の録画フレーム数を選択します。 0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ <b>8</b> ⇄ 10 ⇄ 15 ⇄ 30
	画質	常時録画時の画質（画像圧縮の程度）を選択します。 低画質 ⇄ 中画質 ⇄ <b>高画質</b> ⇄ 超高画質 ⇄ 最高画質
イベント録画	F/S	イベント録画時の録画フレーム数を選択します。 <b>0</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 8 ⇄ 10 ⇄ 15 ⇄ 30
	画質	イベント録画時の画質（画像圧縮の程度）を選択します。 低画質 ⇄ 中画質 ⇄ 高画質 ⇄ <b>超高画質</b> ⇄ 最高画質

### <情報>

- 「F/S」が「0」の場合、録画しないことを意味します。
- イベントが発生した場合だけ録画したい場合は「常時録画」の「F/S」を「0」に設定し、「イベント録画」の「F/S」を「0」以外に設定します。

## 3. デイイベント

**デイイベント** タブでは、予約録画がオフの場合及び予約録画で「デイ」が指定されている時間帯に適用する録画設定が利用するイベント録画の動作条件を登録します。

ここでは、一番左側の列に表示されているチャンネル番号が録画を実行するチャンネル番号で、それに対して割り当てるイベント発生元を他の列で指定します

本機では、イベント発生元のカメラと録画を実行するカメラを別のカメラに設定するような特殊な設定も可能です。



階層：メニュー→設定→録画→デイイベント

項目		説明
CH		設定対象の録画チャンネル番号を表示します。
カメラ	アラーム	センサー入力があるカメラのチャンネル番号を選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
	モーション	被写体の動きを検出するカメラのチャンネル番号を選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
	ロス	ビデオロスを検出させるカメラのチャンネル番号を選択します。 オフ ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
システム		本体のセンサー入力を選択します。 オフ ⇄ SENSOR 1 ⇄ SENSOR 2 ⇄ SENSOR 3 ⇄ SENSOR 4 ⇄ 全て
※		より詳細な設定のために「イベント編集」ウインドウを開きます。 イベント編集の使用方法については 33 ページ「イベント編集」を参照してください。

## 4. ナイト

**ナイト** タブでは、予約録画が「オン」の場合に予約録画でスケジュールが設定されていない時間帯（ナイト）に適用する録画設定を登録します。



階層：メニュー→設定→録画→ナイト

項目		説明
CH.		設定対象のチャンネル番号を表示します。
解像度		録画の解像度を指定します。 CIF ⇄ D1 ⇄ <b>720P</b> ⇄ SXGA ⇄ 1080p
オーディオ		音声を録音するかしないかを選択します。 <b>オフ</b> ：音声を録音しません。 オン：音声を録音します。
常時録画	F/S	常時録画時の録画フレーム数を選択します。 0 ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ <b>8</b> ⇄ 10 ⇄ 15 ⇄ 30
	画質	常時録画時の画質（画像圧縮の程度）を選択します。 低画質 ⇄ 中画質 ⇄ <b>高画質</b> ⇄ 超高画質 ⇄ 最高画質
イベント録画	F/S	イベント録画時の録画フレーム数を選択します。 <b>0</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 8 ⇄ 10 ⇄ 15 ⇄ 30
	画質	イベント録画時の画質（画像圧縮の程度）を選択します。 低画質 ⇄ 中画質 ⇄ 高画質 ⇄ <b>超高画質</b> ⇄ 最高画質

### <情報>

- 「F/S」が「0」の場合、録画しないことを意味します。
- イベントが発生した場合だけ録画したい場合は「常時録画」の「F/S」を「0」に設定し、「イベント録画」の「F/S」を「0」以外に設定します。

**<注意>** **ナイト** タブは **一般** タブ内で「予約録画」を「オン」にしなければ利用できません。

## 5. ナイトイベント

**ナイトイベント** タブでは、予約録画が「オン」の場合に、予約録画でスケジュールが設定されていない時間帯（ナイト）に適用する録画設定が利用するイベント録画の動作条件を登録します。

ここでは、一番左側の列に表示されているチャンネル番号が録画を実行するチャンネル番号で、それに対して割り当てるイベント発生元を他の列で指定します

本機では、イベント発生元のカメラと録画を実行するカメラを別のカメラに設定するような特殊な設定

も可能です。



階層：メニュー→設定→録画→ナイトイベント

項目		説明
CH		設定対象の録画チャンネル番号を表示します。
カメラ	アラーム	センサー入力があるカメラのチャンネル番号を選択します。 <b>オフ</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
	モーション	被写体の動きを検出するカメラのチャンネル番号を選択します。 <b>オフ</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
	ロス	ビデオロスを検出させるカメラのチャンネル番号を選択します。 <b>オフ</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6 ⇄ 7 ⇄ 8 ⇄ 9 ⇄ 10 ⇄ 11 ⇄ 12 ⇄ 13 ⇄ 14 ⇄ 15 ⇄ 16 ⇄ 全て
システム		本体のセンサー入力を選択します。 <b>オフ</b> ⇄ SENSOR 1 ⇄ SENSOR 2 ⇄ SENSOR 3 ⇄ SENSOR 4 ⇄ 全て
※		より詳細な設定のために「イベント編集」ウインドウを開きます。 イベント編集の使用方法については 33 ページ「イベント編集」を参照してください。

## 4. 予約録画



「予約録画」メニューでは、予約録画のスケジュールを設定します。予約録画を有効にするには、「録画」メニューの「設定」タブで「予約録画」を ON に設定してください。



### 1. 予約録画設定

「予約録画設定」タブでは、各曜日の時間帯に「デイ」ゾーン「ナイト」ゾーン及び「録画休止」ゾーンを割り当てることで、録画スケジュールを作ります。

予約録画を「ON」にした場合の初期設定では、全て「ナイト」ゾーンに設定されています。



階層：メニュー→設定→予約録画→予約録画設定

リモコンの場合は ▲ ▼ (上下) ボタンで曜日を選択し、**OK** ボタンを押すと、その曜日の設定に入ります。マウスの場合は曜日をクリックします。





階層：メニュー→設定→予約録画→予約録画設定→日曜日

リモコンの場合、**▲▼◀▶** (方向) ボタンで、項目を移動します。「モード」欄では**+****-** ボタンで値を変更し、「開始」及び「終了」の欄では数字ボタンで入力します。マウスの場合、「モード」欄は**+****-** を左クリックするかマウスポインターを項目の欄に合わせてホイールを回し、「開始」と「終了」の時刻はバーチャルキーボードを使用して合わせます。



項目	説明
モード	デイズ(デイズゾーン)、 <b>ナイト</b> (ナイトゾーン)、非録画(録画休止ゾーン)を選択します。
開始	デイズゾーンと録画休止ゾーンの開始時刻を指定します。
終了	デイズゾーンと録画休止ゾーンの終了時刻を指定します。

#### <注意>

- ナイトゾーンの開始及び終了時刻を設定することは出来ません。デイズゾーンと録画休止ゾーンに設定されていない時間帯が自動的にナイトゾーンと認識されます。
- 予約録画では、開始時刻と同じまたは開始時刻より早い時刻を終了時刻として設定することは出来ません。

変更を保存して元のメニューに戻るには、リモコンの場合カーソルを**保存** ボタンに合わせ **OK** ボタンを押します。変更せずに、このメニューを終了するには、**CANCEL/ESC** ボタンを押します。マウスの場合は **保存** をクリックで保存し、**×** をクリックで保存せずに終了します。



さらに、この設定を他の曜日も適用する場合には、カーソルをコピー元の曜日のボタンに合わせた状態で、リモコンの **DISPLAY** ボタンを押します。



変更を保存して、メニューを終了するには、リモコンの場合は **保存** ボタンにカーソルを合わせ **OK** ボタンを押します。マウス間場合は **保存** をクリックします。

変更せずに、このメニューを終了するには、リモコンの **CANCEL/ESC** を押します。マウスの場合は **×** をクリックします。

#### <情報>

曜日の **カスタム** は、休日設定の中で使用するための特別なスケジュールです。編集の方法は他の曜日と同じですが、他の曜日との間でスケジュールをコピーすることはできません。

## 2. 休日設定

**休日設定** タブでは、1年間に最大16回までの例外的なスケジュールを設定することができます。

カーソル（強調表示されているメニュー）は、**▲▼◀▶**（方向）ボタンを使って動かすことができます。



リモコンの場合「モード」と「日数」は **+** **-** ボタンで選択し、「月/日」は数字ボタンで入力します。マウスの場合「モード」と「日数」は **+** **-** を左クリックするかマウスポインターを項目の欄に合わせてホイールを回しします。





階層：設定→メニュー→予約録画→休日

項目	説明
モード	<p>休日設定された日付の範囲に適用するスケジュールを選択します。  <b>オフ</b> ⇄ デイ ⇄ ナイト ⇄ 非録画 ⇄ 日 ⇄ 月 ⇄ 火 ⇄ 水 ⇄ 木 ⇄ 金 ⇄ 土  ⇄ カスタム</p> <p><b>&lt;情報&gt;</b> 「デイ」「ナイト」「非録画」は適用される日の全ての時間帯にその状態が適用されることを意味します。</p>
月／日	休日設定の適用開始日を「月/日」で指定します。
日数	休日設定を適用する日数を指定します。(最大 15 日)

#### <注意>

ひとつのスケジュールが翌年に及ぶ場合、翌年の分は実行されません。翌年の分は 1 月 1 日から別のスケジュールとして登録するようにしてください。

変更を保存して、メニューを終了するには、リモコンの場合 **保存** ボタンを選択し **OK** を押します。変更せずに、マウスの場合は **保存** を左クリックします。

このメニューを終了するには、リモコンの場合 **CANCEL/ESC** を押します。マウスの場合 **×** を左クリックします。

## 5. ディスク

**ディスク** メニューでは、内臓及び外付け SATA (e-SATA) ハードディスク及び USB ストレージデバイスの管理機能を提供します。

### 1. ディスク管理

ディスク管理は、内臓及び外付け SATA (e-SATA) ハードディスクと USB ストレージデバイスのフォーマットおよび、バックアップ用のような使用法を割り当てることができます。

- カーソル（強調表示されているメニュー）は、**▲▼◀▶**（方向）ボタンを使って動かすことができます。
- HDD または USB ストレージデバイスのフォーマットまたは録画用割当てをするには、「選択」欄内から対象のデバイスをチェックします。
- 「動作」欄左側で **+** **-** ボタンを使って処理を選択します。
- 「動作」欄右側の **開始** ボタンに移動しリモコンの場合 **+** **-** ボタンを使って選択した処理を実行します。マウスの場合は **開始** ボタンを直接クリックします。



階層：メニュー→設定→ディスク→ディスク管理

## ① 選択

ここでは、接続されているデバイスの中で、録画用に割り当てられていない HDD と、本機が認識しているその他の記録メディアが表示されます。

項目	説明
デバイス	<p>メディアの接続状態を示します。            チェックボックス：ウインドウ下部の「動作」で処理を指定するデバイスをチェックします。</p> <p>I N T - A：正面から見て右側のコネクタに接続された内臓 HDD            I N T - B：正面から見て左側のコネクタに接続された内臓 HDD            U S B F：前面の USB 端子に接続されたデバイス            U S B R：背面の USB 端子に接続されたデバイス</p>
容量	HDD のおよその総容量
状態	<p>記録されているデータの種類または機器の種類を示します。            不 明：新しい HDD または本機で読み書きできないフォーマットの HDD            データが存在しません：録画用またはバックアップ用にフォーマットされ、未使用の HDD            録 画 デ ー タ：録画データが保存されている HDD            バックアップデータ：バックアップデータが保存されている HDD            他 の デ ー タ：AVI ファイルを含む、録画またはバックアップ以外のデータが記録された HDD</p>

## ② 動作

「選択」欄のチェックボックスでチェックされた HDD に対しての処理方法を決定します。

項目	説明
なし	何も実行できません。(初期状態)
録画ディスクに指定	<p>選択された HDD を録画用としてフォーマットします。            選択された HDD の表示は、フォーマットの後「録画用ディスク」のタブに移動されます。</p>
バックアップ用フォーマット	HDD をバックアップ用にフォーマットします。バックアップ方法については 81 ページを参照してください。

録画ディスクリンク	<p>既に録画された録画用 HDD を、フォーマットせずに録画用 HDD として割り当てます。</p> <p>この機能には以下に示す制限があります。</p> <p>A) DVR に他の録画用 HDD が割り当てられていないこと。</p> <p>B) 割り当てる HDD が、本機と同型の DVR で録画用ディスクとして記録された HDD であること。(他機種の録画用ディスクは使用できません)</p> <p>C) HDD 内に記録されたデータに時間的な重複が無いこと。</p>
-----------	--

デバイスの接続方法と、利用可能な用途は下表のようになります。

用途 \ 接続方法	内蔵 SATA HDD	外付け e-SATA HDD	外付け USB HDD	外付け USB メモリー
録画用	○	○	×	×
バックアップ用	△	△	○	○
<p>凡例 ○：利用可能</p> <p>△：本体でのみ再生可能です。Windows パソコンでの再生及び他のメディアへのバックアップは出来ません。</p> <p>×：利用不可能</p>				

#### <注意>

- バックアップ用としてフォーマットした内蔵 HDD に保存されたデータを、別のメディアにコピーすることはできません。(本体再生のみ可能)
- 「LINK RECORD DISK」は、録画用ディスクに割り当てられている HDD が無い場合にだけ実行できます。
- 「LINK RECORD DISK」を 2 台の HDD に対して実行することはできません。
- USB フラッシュメモリーはフォーマットしなくても動作します。
- USB デバイスを録画用に割り当てることは出来ません。バックアップだけに制限されます。

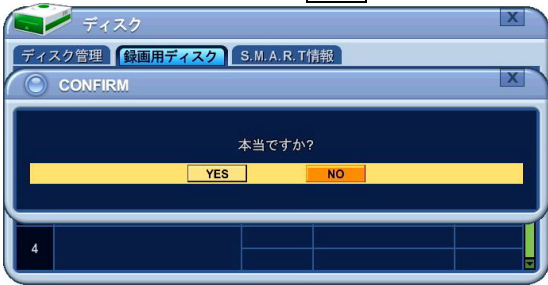
## 2. 録画用ディスク

録画用ディスク タブでは、ディスク管理 タブ内で録画用に割り当てた HDD のみがリストとして表示され、除去 ボタンで割り当てを解除することができます。



カーソル (強調表示されているメニュー) は ▲ ▼ ◀ ▶ (方向) ボタンを使って動かすことができます。

階層：メニュー→設定→ディスク→録画用ディスク

項目	説明
容量, 範囲	以下の 2 項目を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● HDD の使用量／総容量</li> <li>● 最も古い映像の録画日 ～ 最も新しい映像の録画日</li> </ul>
デバイス	HDD の接続状態を示します。(「ディスク管理」タブと同じ分類)
状態	録画用 HDD の状態を示します。通常は「安定」と表示されています。 ① 安 定：HDD は安定状態です。 ② 再同期：新しく取り付けられた HDD に録画ディスクのデータをコピーしている状態です。
動作	<p>「<b>除去</b>」ボタンで HDD を録画用から解除できます。            以下のような確認メッセージが表示された後、「<b>YES</b>」を選択すると解除を実行します。</p>  <p style="text-align: center;"><b>&lt;注意&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 録画用として複数の HDD を使用している場合、録画ディスクの割り当てを一旦解除してしまうと、元の状態に戻すことはできません。</li> <li>● 万一、複数の録画ディスク構成で、録画ディスクの割り当てを解除してしまった後、バックアップが必要な場合は、それぞれの HDD を個別に「LINK RECORD DISK」で割り当て、バックアップを実行した後、割り当てを解除する方法を繰り返してバックアップしてください。</li> </ul>

### 3. S.M.A.R.T 情報

S.M.A.R.T 情報では、内臓 HDD の状態を表示します。



番号	ID	不良セクタ	温度	時間	状態
1	INT-A	0	37 度	120 日	正常
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

階層：メニュー→設定→ディスク→S.M.A.R.T 情報

項目	説明
ID	他のタブの「デバイス」と同じ情報を表示します。
不良セクター	HDD の不良セクタ数を表示します。
温度	HDD の温度を表示します。
時間	HDD の使用時間数の合計を表示します。
状態	HDD の状態を表示します。 正 常：良好 異 常 可 能 性：問題があるかもしれない警告 異常可能性履歴：以前に「異常可能性」が起きた 損 傷：異常発生 要交換

## 6. ネットワーク

### 1. LAN ポート

「LAN ポート」タブでは LAN ポートの IP 設定をします。ここでは、本機の遠隔監視・時刻同期・DDNS 更新・電子メール送信等、ネットワークサービスを利用するための接続と同時に、適切な設定を行うことで IP カメラを接続することも可能です。



階層：メニュー→設定→ネットワーク→LANポート

項目	説明
IP 設定方式	本機の LAN ポートの IP アドレスを設定する方法を選択します。 <b>固 定 I P</b> ：本機に割り当てる IP アドレスを直接入力します。 DYNAMIC IP(DHCP)：本機を接続するネットワーク内の DHCP サーバから、自動的に本機に IP アドレスを割り当てます。
IP アドレス	「IP 設定方式」で「固定 IP」を選択した場合に、本機の IP アドレスを入力します。
ネットマスク	「IP 設定方式」で「固定 IP」を選択した場合に、本機のサブネットマスクを入力します。
ゲートウェー	「IP 設定方式」で「固定 IP」を選択した場合に、本機が接続されているネットワークのゲートウェーアドレスを入力します。
第 1 DNS サーバ	「IP 設定方式」で「固定 IP」を選択した場合に、本機が接続されているネットワークの第 1 DNS サーバアドレスを入力します。
第 2 DNS サーバ	「IP 設定方式」で「固定 IP」を選択した場合に、本機が接続されているネットワークの第 2 DNS サーバアドレスを入力します。

### <注意>

- 「LAN 設定」は設定を誤ると本機だけでなく、同じネットワーク内の他の機器の通信にも障害を与える恐れがあります。設定を慎重に行ってください。
- 企業内等では、ネットワーク管理者の指示に従って設定を実施してください。

## 2. IPCAM ポート

「IPCAM ポート」タブでは IPCAM ポートの IP 設定をします。IPCAM ポートには 1 つのポートに 1 台の IP カメラを接続して使用します。このポートでは、独自のプラグアンドプレイ機能の採用により、対応 IP カメラであれば、特別な設定をすることなく、従来のアナログカメラと同じように接続するだけで使用可能です。また、PoE で IP カメラに電源を供給することが出来ますので、カメラの電源配線が不要になります。(12W 以内)



階層：メニュー→設定→ネットワーク→IPCAM ポート

項目	説明
IP 設定方式	本機の IPCAM ポートの IP アドレスを設定する方法を選択します。 <b>固 定 I P</b> ：本機に割り当てる IP アドレスを直接入力します。 DYNAMIC IP(DHCP)：予定機能（設定しないでください）
IP アドレス	本機の IPCAM ポートの IP アドレスを入力します。
ネットマスク	本機の IPCAM ポートのサブネットマスクを入力します。

### <注意>

- IPCAM ポートには、それぞれのポートに 1 台のカメラを接続してください。
- IPCAM ポートに接続したプラグアンドプレイ対応 IP カメラは、接続したポートの番号と同じ番号のチャンネル番号のカメラとして扱われます。
- 初期設定の状態では IPCAM ポートと IP カメラの間にハブ等のネットワーク機器を入れる事は出来ません。



### 3. 一般

「一般」タブでは、LAN ポートの IP 設定以外の基本的な設定をします。



階層：メニュー→設定→ネットワーク→一般

項目	説明
アクセス・ポート	遠隔監視ソフト等を利用して本機へアクセスするための TCP サービスポート番号を設定します。 設定範囲：0001～7000～9999
使用帯域幅	遠隔監視ソフト等を利用して本機へアクセスする場合の、
アクセス・ブロック	PING ブロック：このチェックボックスをチェックすると、本機は PING (ICMP ECHO) に応答しなくなります。 スキャンブロック：このチェックボックスをチェックすると、本機は遠隔監視ソフトからの検索に応答しなくなります。 これらは、初期設定では無効（応答する）に設定されています。
接続可否リスト	遠隔監視ソフト等からの本機へのアクセス制限することが出来ます。 オフ：本機へのアクセスを制限しません。 遮断：「ホストリスト」タブで選択されたネットワークアドレスの範囲内にあるホストからのアクセスだけを拒否します。 許容：「ホストリスト」タブで選択されたネットワークアドレスの範囲内にあるホストからのアクセスだけを許可します。
自動ポート	将来利用できる予定の機能です、現在のご利用いただけません。
双方向オーディオ	チェックボックスをチェックすると双方向通話機能が有効になります。 初期設定では無効に設定されています。
SNMP	予定機能

### 4. E メール

「E メール」タブは、メール通知機能の設定をします。





階層：メニュー→設定→ネットワーク→Eメール

項目		説明
使用		メール通知機能使用の有無と送信方法を選択します。 <b>オフ</b> ：メール通知機能を無効にします。 <b>デフォルト</b> ：製造元の提供するメールサーバを使用してメールを送信します。 <b>SMTP</b> ：お客様の設定した SMTP サーバを使用してメールを送信します。（予定機能）
転送周期	イベント	イベント発生時にメールを送信する間隔を指定します。 <b>即時</b> ⇄ 10 分 ⇄ 1 時間 ⇄ 1 日
	ログ	ログを送信する間隔を指定します。 <b>1 日</b> ⇄ 1 週間
再試行回数		メール送信に失敗した場合の、再試行回数を指定します。 <b>無し</b> ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 無制限
メール送信ソース	イベント編集	メールを送信するイベントの種類を選択するための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	ログ記録	ログをメールで送信するかどうかを指定します。初期設定では送信しない設定になっています。
画像添付		イベント発生時の静止画像をメールに添付するかどうかを選択します。初期設定では添付しない設定になっています。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>&lt;注意&gt;</b>            画像添付機能は、同一のイベントによるイベント録画映像が存在する場合にだけ実行されます。イベント録画映像が無い場合には画像は添付されません。         </div>
E メールアドレス		送信先は 32 文字以内のメールアドレスを、最大 5 箇所まで指定できます。

**<注意>**

- 本機の E メール通知機能で送信される電子メールは英文です。日本語には対応しておりません。
- 本機の E メール通知機能による電子メールは携帯電話等、一部の端末で受信できない場合があります。

## 1. イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、メールを送信するイベントの種類を選択します。



階層：メニュー→設定→ネットワーク→Eメール→イベント編集

「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、イベント録画の場合と同じですが、Eメール用の場合には、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、

下表に示します。

	HDD ディスク障害		ディスク満杯
	録画システム障害		パスワード認証連続失敗
	RTC 用電池電圧用電池電		センサー入力 1
	外部機器イベント		センサー入力 2
	ネットワークリンク切断		センサー入力 3
	管理者ログイン		センサー入力 4
	停電復旧		

## 5. SMTP

**E メール** タブの「使用」で「SMTP」を選択した場合に使用する SMTP サーバに関する設定をします。



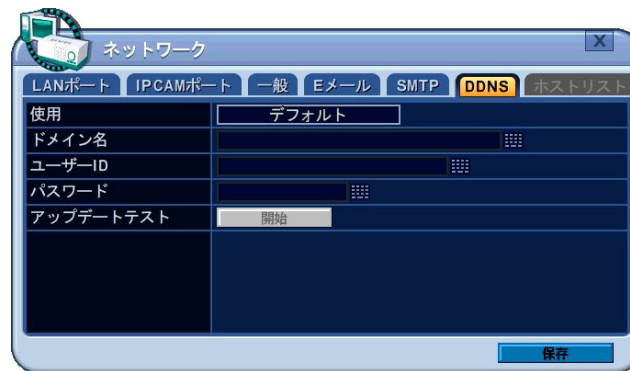
階層：メニュー→設定→ネットワーク→SMTP

項目	説明
サーバー	電子メール通知の送信に使用する SMTP サーバを指定します。
ポート設定	SMTP サーバのサービスポート番号を指定します。(初期値：0025) <b>&lt;注意&gt;</b> サブミッションポートが指定されている場合「0587」に変更してください。
認証	SMTP サーバの認証機能の有無を <b>OFF</b> , <b>ON</b> で指定します。
ユーザーID	SMTP サーバ用のログイン ID を指定します。
パスワード	SMTP サーバ用のパスワードを指定します。
テスト転送	電子メール通知の送信テストを実行します。 リモコンの場合は <b>開始</b> ボタンにカーソルを合わせて <b>OK</b> ボタンを押します。 マウスの場合は <b>開始</b> ボタンを左クリックします。

## 6. DDNS (ダイナミック DNS)

**DDNS** タブでは、ダイナミック DNS サイトのアップデートに関する設定ができます。

NVR をインターネット経由で遠隔監視しようとする場合、正しい IP アドレス（インターネットアドレス）を指定して接続する必要があります。しかしながら、一般的なインターネット接続契約では、接続毎または一定時間毎に IP アドレスが変化します。このような環境で、外部から接続しようとする場合、変化する IP アドレスに対して適切に接続できなければなりません。ダイナミック DNS では、特定のホスト名を使用することで、変化する IP アドレスに対して適切に接続できるようになります。



階層：メニュー→設定→ネットワーク→DDNS

項目	説明
使用	<b>O F F</b> : DDNS 機能を使用しません。 デフォルト : 本機の製造元が提供する DDNS サービスを使用します。 DYNDNS : 米国 “dyndns.com” の提供する DDNS サービスを使用します。 N O ・ I P : 米国 “NO-IP” の提供する DDNS サービスを使用します。
ドメイン名	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のドメイン名をホスト名から指定します。
ユーザーID	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のユーザーID を指定します。
パスワード	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のパスワードを指定します。
アップデートテスト	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時に DDNS アップデートのテストを実行します。

「使用」を **デフォルト** に設定する場合、細かな設定をすることなく DDNS 機能をご利用いただけます。  
この場合、遠隔監視用の PC 側から見たアドレスは以下のようになります。

**“HOSTNAME” .DVRHOST.COM**

Internet Explorer から入力する場合は以下のようになります。

**http:// “hostname” .dvrhost.com: “PortNumber” /**

#### <情報>

- “HOSTNAME” 及び “hostname” の部分には、本機 1 台毎に割り当てられた固有のホスト名を利用します。このホスト名はリモコンで **INFO** ボタンを押すと「ホスト名」で確認することができます。マウスの場合、右クリックメニューから「システム情報」を選択します。
- “HOSTNAME” は大文字で入力しなければならないことを意味し、“hostname” は小文字で入力しなければならないことを意味します。
- “PortNumber” は本機の「ネットワーク」メニュー内で指定された「アクセス・ポート」を意味します。参照→54 ページ

## 7. ホストリスト

ホストリスト タブでは、一般 タブの「アクセスホスト」で指定された「遮断指定」または「許容指定」に従って、アクセス拒否またはアクセス許可するためのネットワークアドレスとマスク長を指定します。



階層：メニュー→設定→ネットワーク→ホストリスト

項目	説明
チェックボックス	「IP/マスク長」の有効無効を切替えます。
IP/マスク長	遮断指定または許容指定するネットワークアドレスとマスク長を指定します。 単一の IP アドレスを指定する場合には、マスク長として「32」を指定します。

## 7. デバイス

「デバイス」メニューでは、本機と外部機器の接続に関する設定をします。

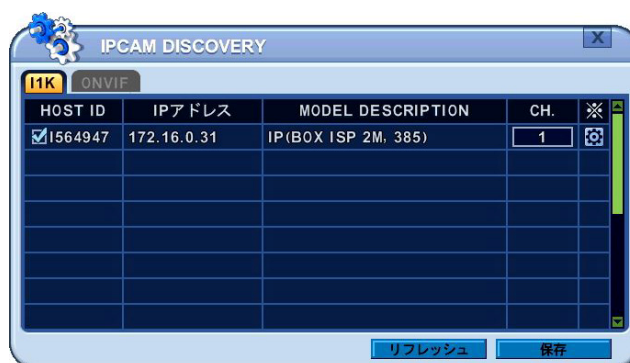
### 1. 一般



階層：メニュー→設定→デバイス→一般

項目	説明
VGA 出力	<p>VGA 出力及び HDMI 出力の解像度を以下から選択できます。  <b>800×600</b> ⇔ 1024×768 ⇔ 1280×720 ⇔ 1280×1024 ⇔ 1920×1080P  HDMI モニターが接続されていて「HDMI 自動検出」がチェックされている場合は自動設定されます。</p> <p>&lt;注意&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 解像度 800×600, 1024×768, 1280×1024 の解像度では、モニターによっては正しいアスペクト比（縦横比）が得られない場合があります。その場合は、1280×720 または 1920×1080 の解像度を選択してください。</li> <li>● HDMI 接続されたモニターでは、正しいアスペクト比（縦横比）が得られない場合があります。その場合は、モニターを VGA OUT に接続して、アスペクト比を 16:9 に設定してください。</li> <li>● この設定は、VGA OUT と HDMI の両方に適用されます。</li> <li>● 解像度の設定を手作業で実施する場合、低い解像度から順に試してください。</li> <li>● VGA OUT と HDMI を同時に使用する場合に、VGA OUT に接続されたモニターが正しく表示されない場合は、手作業で低い解像度から順に試してください。</li> </ul>
キーボードモデル	<p>ジョイスティックコントローラの種類とボーレートを選択します。  種類：なし ⇔ デフォルト ⇔ キーパッドⅡ  ボーレート：2400BPS ⇔ 4800BPS ⇔ <b>9600BPS</b> ⇔ 19200BPS ⇔ 38400BPS  ⇔ 57600BPS ⇔ 115200BPS</p> <p>&lt;注意&gt;</p> <p>弊社ではジョイスティックコントローラの輸入取り扱いは致しておりません。この機能に関してはサポート対象外とさせていただきます。</p>
拡張機器	予定機能（現在使用できません）
PTZ イベント	<p>PTZ イベントの遅延時間を設定します。（0 ～ 5 秒）  <b>オフ</b> ⇔ 1 秒 ⇔ 2 秒 ⇔ 3 秒 ⇔ 4 秒 ⇔ 5 秒</p>
アラーム出力 （予定機能）	<p>アラーム出力の遅延時間を設定します。（0～5 秒）  <b>オフ</b> ⇔ 1 秒 ⇔ 2 秒 ⇔ 3 秒 ⇔ 4 秒 ⇔ 5 秒</p>
IP カメラ設定	「LAN PORT」及び「IPCAM PORT」に接続された IP カメラをリストアップする「IPCAM DISCOVERY」ウインドウを開きます。
IP カメラアップデート	本機に接続された専用 IP カメラのアップデートを実行するための「IPCAM UPDAGE」ウインドウを開きます。（予定機能）

## 1. IPCAM DISCOVERY

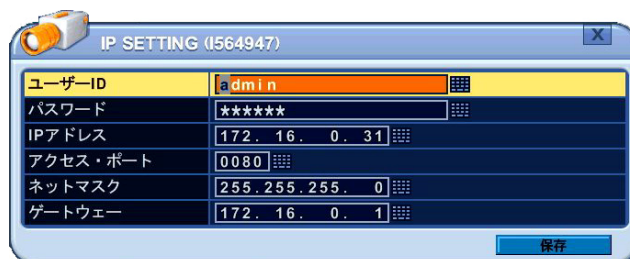


階層：メニュー→設定→デバイス→一般→IP DISCOVERY

項目	説明
HOST ID	IP カメラのホスト名を表示します。ネットワーク上のカメラを識別するために使用します。
IP アドレス	IP カメラの現在の IP アドレスを表示します。
MEDEL DESCRIPTION	IP カメラの種類を表示します。
CH	IP カメラにチャンネル番号を割り当てます。
※	IP カメラにアクセスするための IP アドレスや ID, パスワードを設定するための「IP SETTING」ウインドウを開きます。

## 2. IP SETTING

IP カメラのアクセス設定をします。



階層：メニュー→設定→デバイス→一般→IP DISCOVERY→IP SETTING

項目	説明
ユーザーID	IP カメラ用のログイン ID を入力します。
パスワード	IP カメラ用のログインパスワードを入力します。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。
アクセス・ポート	IP カメラの TCP サービスポート番号を入力します。
ネットマスク	対象ネットワークのサブネットマスクを入力します。
ゲートウェー	対象ネットワークのゲートウェーアドレスを入力します。



### 3. IP カメラアップデート

IP カメラのファームウェアをアップデートします。



階層：メニュー→設定→デバイス→一般→IP カメラアップデート

項目	説明
アップデート	USB メモリー内のファームウェアファイルが表示され、ファイルの選択が出来ます。
CH	IP カメラのチャンネル番号を表示します。
状態	<p>IP カメラの状態を表示します。</p> <p>利 用 可 能：アップデート可能な状態 利 用 不 能：アップデート出来ない状態または NVR にカメラが認識されていない状態</p> <p>アップデート準備完了：現在選択されているファームウェアファイルでアップデート可能なカメラ 同 バ ー ジ ョ ン：現在選択されているファームウェアファイルと同じバージョンのカメラ U P L O A D I N G：ファームウェアファイルをカメラに転送中 U P G R A D E * * %：IP カメラのアップデート中 ア ッ プ グ レ ー ド 完 了：IP カメラのアップデート完了</p>
※	IP カメラのバージョン情報等を示すウインドウを表示します。

本機に接続された専用 IP カメラのファームウェアアップデートを以下の手順で実行します。

- ① ルートフォルダにファームウェアファイルの入った USB メモリーを USB ポートに差し込みます。
- ② ツールバーに USB アイコンが表示されたことを確認し、このメニューに入ります。
- ③ ウインドウ右上の **開始** ボタンでファイルの検索を開始します。検索中はボタンの表示が **待機** になります。





- ④ 「アップデート」欄に表示されたファームウェアファイルを選択します。



- ⑤ ファイルを選択すると、選択されたファイルと違うバージョンのカメラは明るく表示され、同じバージョンのカメラはやカメラが認識されていないチャンネルは暗く表示されます。




- ⑥ 各カメラの「状態」欄にあるチェックボックスを選択し、「開始」ボタンでアップデートを開始します。

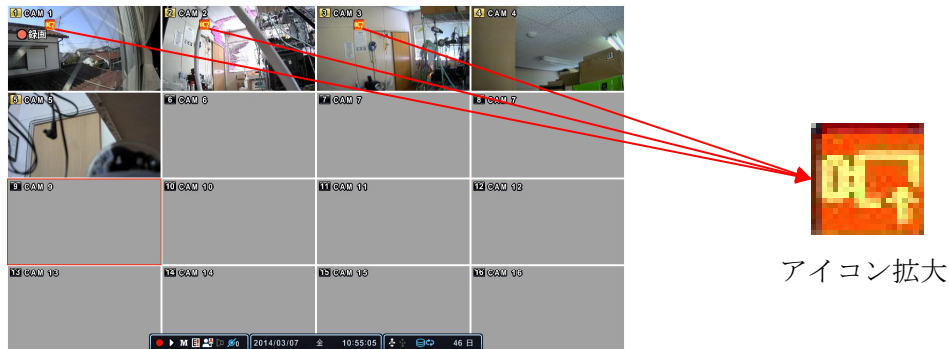


- ⑦ **開始** ボタンでアップデートを開始します。

アップデート中はウインドウ表示が以下のように変化します。




また、ライブ表示画面には、以下のようにアップデート中を示す  アイコンが表示されます。



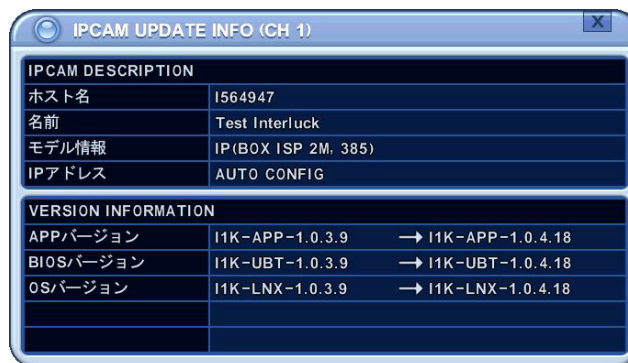
⑧ アップデートが完了するとアップデート中を示すアイコンが消えます。

#### <注意>

- IP カメラのアップデート中を示すアイコンが表示されている間は、IP カメラ及び本機の電源を切らないでください。
- アップデートが完了すると、IP カメラは自動的に再起動されます。再起動中は、数 10 秒間映像が途切れます。(ビデオロス状態)

## 4. IPCAM UPDATE INFO

「IPCAM UPDATE INFO」ウィンドウでは、個別の IP カメラに関する基本的な情報を表示します。

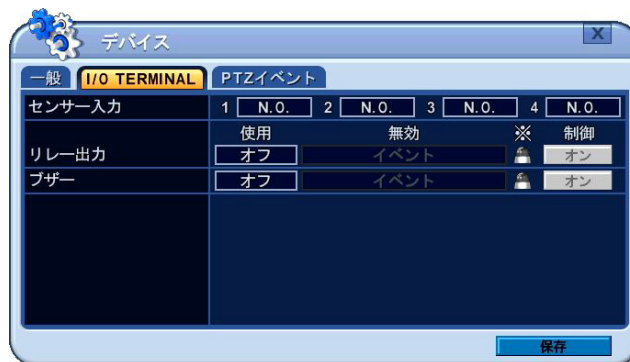


階層：メニュー→設定→デバイス→一般→IP カメラアップデート→IPCAM UPDATE INFO

項目	説明
<b>IPCAM DESCRIPTION</b>	
ホスト名	IP カメラのホスト名を表示します。
名前	IP カメラに設定されている「名称」を表示します。
モデル情報	IP カメラの機種を分類するための情報を表示します。(販売時の型式ではありません)
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを表示します。
<b>VERSION INFORMATION</b>	
APP バージョン	IP カメラの APP バージョンを表示します。
BIOS バージョン	IP カメラの BIOS バージョンを表示します。
OS バージョン	IP カメラの OS バージョンを表示します。
<b>&lt;情報&gt;</b>	
バージョン情報は、左側に現在の NVR のバージョンが表示され、右側に USB メモリー内の現在選択しているファイルのバージョンが表示されます。	

## 2. IO TERMINAL

本機のセンサー入力とリレー出力及びアラームブザーに関する設定をします。



階層：メニュー→設定→デバイス→I/O TERMINAL

項目		説明
センサー入力		<p>本機の各センサー入力の動作モードを選択します。</p> <p>オフ：センサー入力を無効にします。</p> <p><b>N.O.</b>：センサー入力をノーマルオープンモードにします。</p> <p>N.C.：センサー入力をノーマルクローズモードにします。</p>
リレー出力		本機のリレー出力の動作モードを選択します。
	使用	<p>アラーム出力の出力方式を切替えます。</p> <p>オフ：アラーム出力を無効にします。</p> <p><b>N.O.</b>：アラーム発生で端子を短絡します。</p> <p>N.C.：アラーム発生で端子を開放します。</p>
	無効	<p>アラーム発生後、アラーム出力を通常に戻す方法を指定します。</p> <p><b>イベント</b>：自動的に通常の状態に戻します。</p> <p>手動設定：このメニューの右側にある「制御」ボタンで通常の状態に戻します。</p>
	※	アラーム出力のための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	<p>アラーム出力の オン オフ を直接手作業で実行するボタンです。</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><b>&lt;注意&gt;</b></p> <p>ボタン上の <b>オン</b> <b>オフ</b> の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。</p> </div>
ブザー		本機のアラームブザーの動作モードを選択します。
	使用	<p><b>オフ</b>：アラームブザーを無効にします。</p> <p>オン：アラームブザーを有効にします。</p>
	無効	<p>アラーム発生後、アラームブザーを止める方法を指定します。</p> <p><b>イベント</b>：自動的に止めます。</p> <p>手動設定：同メニューの右側にある「制御」ボタンで止めます。</p>
	※	アラームブザーのための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	<p>アラームブザーの ON OFF を直接手作業で実行するボタンです。</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px;"> <p><b>&lt;注意&gt;</b></p> <p>ボタン上の <b>オン</b> <b>オフ</b> の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。</p> </div>

## 1. イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、アラーム出力またはブザーを鳴動させるイベントの種類を選択します。



「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、Eメール用の場合と同じで、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、下表に示します。

<input type="checkbox"/>	HDD ディスク障害	<input type="checkbox"/>	ディスク満杯
<input type="checkbox"/>	録画システム障害	<input type="checkbox"/>	パスワード認証連続失敗
<input type="checkbox"/>	RTC 用電池電圧低下警告	<input type="checkbox"/>	センサー入力 1
<input type="checkbox"/>	外部機器イベント	<input type="checkbox"/>	センサー入力 2
<input type="checkbox"/>	ネットワークリンク切断	<input type="checkbox"/>	センサー入力 3
<input type="checkbox"/>	管理者ログイン	<input type="checkbox"/>	センサー入力 4
<input type="checkbox"/>	停電復旧		

### 3. PTZ イベント（予定機能）

アラームトリガ、モーション検出またはビデオロス発生のような場合、本機は予め設定した命令を PTZ カメラに送ります。



階層：メニュー→設定→デバイス→PTZ イベント

項目	説明
チャンネル	希望する PTZ カメラのチャンネルを選択します。
有効	イベントが検出されたとき、PTZ アクション [ なし ⇄ 位置 ⇄ ツアー ] 及びプリセット番号またはツアーグループを設定します。
無効	イベント持続時間が切れた後のカメラポジションを選択します。
※	この PTZ 動作に割り当てるイベントを選択するための「イベント編集」ウインドウを開きます。

#### <注意>

- この機能は、この設置・取扱説明書を編集している段階では開発中の機能です。将来利用できることを予定している機能ですので、動作確認等は実施しておりません。
- PTZ イベントのために PTZ カメラのモーション検出はセットアップできません。信号がループします。

## 8. システム

「システム」メニューでは、本機のシステムに関する基本的な設定ができます。

### 1. 一般



階層：メニュー→設定→システム→一般

項目	説明
コントロール ID	<p>本機の「コントロール ID」とリモコンの「DVR ID」を合わせることで、同じ番号同士の NVR とリモコンの組み合わせだけで操作できるようにします。ただし、“00” のみは例外で以下のように機能します。(初期設定 00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの DVR ID が “00” の場合、NVR のシステム ID に関係なく、全ての NVR を操作できます。</li> <li>● NVR のコントロール ID が “00” の場合、リモコンの NVR ID に関係なく、どのリモコンからの操作も受け付けます。</li> </ul> <p>DVR ID の変更方法については 10 ページの「DVR ID」を参照してください。</p>
システム名	<p>システム名を設定すると、本機を遠隔監視ソフトウェアに登録したときに、この名称が自動的に「DVR 名称」の初期設定になります。</p> <p>使用可能な文字は半角 27 文字以内の英数及び一部の特殊記号のみです。</p> <p><b>&lt;注意&gt; この機能は日本語には対応しておりません。</b></p>
キー操作音	キー操作時のブザー音の <b>オン</b> オフ を設定します。
自動ログアウト	<p>本機の操作をしない状態で、指定した時間が経過した場合、自動的にログアウトするまでの時間を以下から選択できます。</p> <p>[オフ ⇄ 1 分 ⇄ <b>3 分</b> ⇄ 5 分 ⇄ 10 分 ⇄ 30 分 ⇄ 60 分 ⇄ 120 分]</p>
HDD 状態監視	<p>HDD の自己診断情報 (S.M.A.R.T) を取得するかどうかを選択します。</p> <p><b>オフ</b>：本機は HDD の自己診断情報を取得しません。</p> <p><b>オン</b>：本機は HDD の自己診断情報を取得します。</p>



## 2. 日時設定

**日時設定** タブでは本機に内蔵時計の日時設定と時刻同期に関する設定をします。



階層：メニュー→設定→システム→日時設定

項目	説明
タイムゾーン	協定世界時(UTC)またはグリニッジ標準時(GMT)との時差を指定します。 初期設定では、日本標準時 (JST) <b>GMT+09:00 (STANDARD)</b> になっています。
日付表示形式	日付の表示形式を以下から選択します。 年/月/日 ⇄ 月/日/年 ⇄ 日/月/年
NTP 時刻同期	<b>オフ</b> ：NTP 時刻同期機能を使用しません。 <b>オン</b> ：NTP 時刻同期機能を使用します。
NTP サーバー	本機が時刻の基準とする NTP サーバを指定します。
NTP 同期テスト	<b>開始</b> で NTP サーバとの通信テストを開始します
日付	日付を入力します。(「NTP 時刻同期」が オン の場合は無効)
時間	時刻を入力します。(「NTP 時刻同期」が オン の場合は無効)

### <情報>

- 本機は、NTP(Network Time Protocol)による時刻同期クライアント機能を有しており、正確な時刻元に同期させることで、内蔵時計の時刻合わせを自動化することができます。
- NTP サーバは、企業内で準備していただくか、公的な機関がインターネットで公開している公開 NTP をご利用ください。

### <注意>

- NTP は、全世界で共通に利用されている時刻同期の方式です。従いましてタイムゾーン（協定世界時に対する時差）を正しく設定していただく必要があります。
- 参照先 NTP サーバが十分な安定度を持たない場合、同期できない場合があります。(例：一般のパソコン)
- 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。

### 3. ユーザーアカウント

ユーザーアカウント タブでは、本機を操作することができるユーザーと、その操作権限を設定します。



階層：メニュー→設定→システム→ユーザーアカウント

項目		説明
ユーザー／名称		<p>ユーザー：ユーザーの種類を「管理者」及び「ユーザー1」～「ユーザー10」の合計 11 人から選択できます。</p> <p>名 称：11 人のそれ人のそれぞれのユーザーに固有の名称を付けること す。 (半角英数で大文字も小文字も使用可能ですが、ネットワーク接続時には大文字小文字は区別されません)</p>
有効化		<p>オフ：選択されたユーザーを無効にします。</p> <p>オン：選択されたユーザーを有効にします。</p> <p>初期設定：管理者→<u>オン</u> その他のユーザー→<u>オフ</u></p>
権限		<p>選択されたユーザーの権限を以下の 6 項目について有効と無効を切替えることができます。</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>再生      <input checked="" type="checkbox"/>PTZ 制御      <input checked="" type="checkbox"/>バックアップ      <input checked="" type="checkbox"/>設定  <input checked="" type="checkbox"/>録画停止      <input checked="" type="checkbox"/>システムシャットダウン         </p>
遠隔用パスワード		<p>それぞれのユーザーが、ネットワーク経由で本機に接続するときに使用するパスワードを選択します。</p> <p>接 続 制 限：選択されたユーザーがネットワーク経由で接続できないようにします。</p> <p>システム P/W：選択されたユーザーが本機を直接操作するときに使用するパスワードを、ネットワーク接続用にも併用できるようにします。</p> <p>カスタム P/W：選択されたユーザーのために、ネットワーク接続専用のパスワードを作成できるようにします。最大文字数：半角 14 文字利用可能な文字種：A～Z, a～z, 0～9</p> <p>初期設定：管理者→<u>システム P/W</u> その他のユーザー→<u>接続制限</u></p>
使用チャンネル		<p>選択されたユーザーに、視聴を許可するチャンネルを選択します。</p>
システムパスワード	現在	<p>システムパスワード変更時に現在のパスワードを入力します。(管理者のみ)</p>
	新しい	<p>システムパスワード変更時に新しいパスワードを入力します。</p>
	再入力	<p>システムパスワード変更時に新しいパスワードを確認のために再入力します。</p>

#### <注意>

- 初期設定では、管理者のみが有効化されています。
- 管理者を無効にすることはできません。
- 管理者に初期設定されたユーザー名は“admin”、システムパスワードは“000000”です。
- 管理者には全ての権限が与えられており、これを制限することはできません。
- ユーザー1～ユーザー10の「設定」の権限では、システムメニューに入ることはできません。
- ユーザー1～ユーザー10の視聴可能なチャンネルを制限した場合、ユーザーがログアウトした状態では、全てのユーザーに許可されているチャンネル以外のチャンネルは見るができなくなります。
- 初期設定の状態でユーザー1～ユーザー10の各ユーザーを有効にしただけの場合、これらのユーザーによるネットワーク経由の接続は「接続制限」に設定されています。

## 4. アップデート

**アップデート** タブでは、本機のファームウェア (FW) のバージョン確認とアップデートを実行します。



階層：メニュー→設定→システム→アップデート

項目	説明
アップデート	上段は USB メモリー内にあるファームウェア (F/W) のファイル名を表示し、ファイルが複数ある場合はスピンドボックスとして動作することで、ファイルを選択することができます。 下段のボタンは以下の 3 つの機能があります。 1. USB メモリー内の F/W ファイル検索 2. F/W のアップデート 3. F/W アップデート後のシステム再起動 アップデートの方法は、下の説明を参照してください。
ALL バージョン	各ソフトウェアのバージョンを表示します。 左側に現在のバージョン、右側に USB メモリー内の選択された F/W ファイルのバージョンを表示します。
BIOS バージョン	
OS バージョン	
APP バージョン	

アップデート作業は、以下の手順で実施します。

1. 適当な USB メモリーを FAT32 または NTFS でフォーマットしてください。(フォーマット済みの場合は省略可)
2. USB メモリーのルートフォルダに、パソコンで FW ファイルをコピーします。  
(USB メモリーに他のファイルやフォルダがある場合は削除します)
3. 本機に LAN ケーブルが接続されている場合は、必ず抜いてください。

- 録画中の場合は録画を停止してください。
- USB メモリーを本機に差込みます。
- メニュー→設定→システム→アップデート と進むと現在の F/W バージョンが表示されます。



- 開始 ボタンを押すと、USB メモリー内のファイルをスキャンします。(ボタンを押した後は待機に変化します)



- ファイルのスキャンを完了すると、上側のボックスで F/W ファイルを選択可能になります。



- 適切なファイルを選択すると、選択したファイルのバージョン番号が現在のバージョン番号の右側に表示されますので、確認して 開始 ボタンを押します。



10. アップデートが開始され、アップデート中は以下のように進捗が表示されます。



11. アップデートを完了すると、進捗が「成功」と表示され、ボタンが再起動 に変わりますので、本機を再起動させてアップデートは完了します。

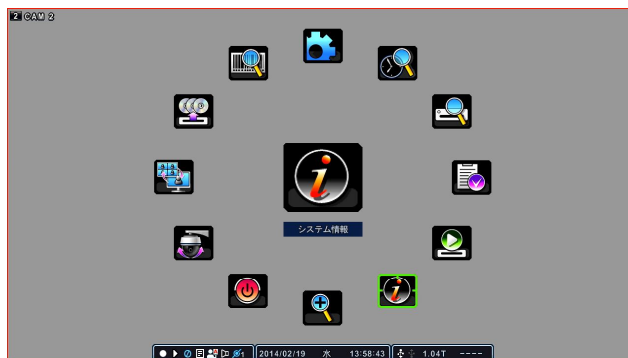


#### <注意>

- アップデート中は、ボタン操作をしたり、本機の電源を切ったりしないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機をアップデートする場合は、必ず販売店または弊社にご相談いただき、正規のアップデートファイルを利用してアップデートを実行していただきますようお願い致します。
- 不正なアップデートファイルによって、本機をアップデートされた場合、その後の故障や損傷につきまして、弊社及び製造元では一切の責任を負わないものとします。
- 不正なアップデートファイルによって、本機をアップデートされた場合、保証期間内であっても保証対象外とさせていただく場合があります。

# VII システム情報

「システム情報」メニューでは、本機のシステムに関する情報を表示します。



## 1. 要約



階層：メニュー→情報→要約

項目	説明
モデル情報	本機の機種に関する分類とチャンネル数を表示します。 これは、「HDD Calculator」のような弊社の提供するソフトウェアを使用する場合に、機種を選択する項目で使用します。
ホスト名	本機のホスト名を表示します。これは、製造元が提供するデフォルトの DDNS 機能を利用する場合に必要です。
MAC	本機の MAC アドレスを表示します。本機を接続するネットワークのルータ設定をする場合等に必要になることがあります。
言語	本機の GUI 表示言語の名称を表示します。日本市場向けの製品では、「JAPANESE」と表示されています。
ネットワーク	本機の IP アドレスと TCP サービスポート番号を表示します。
録画用ディスク容量	現在の設定で本機に録画可能な映像データの最大容量を表示します。
ディスク概要	本機の内蔵 HDD の構成を表示します。
バージョン	本機の F/W バージョンを表示します。



## 2. ディスク



階層：メニュー→情報→ディスク

項目	説明
内蔵 SATA 端子	接続された内蔵 HDD のポート毎の容量を表示します。
外部 SATA 端子 1	接続された外付け eATA HDD のポート毎の容量を表示します。
USB 前面	前面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。
USB 背面	背面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。

## 3. ネットワーク

ネットワークを通して本機にログインしているユーザーの状態を表示します。



階層：メニュー→情報→ネットワーク

項目	説明
番号	接続順に番号付けされます。
IP アドレス	接続しているユーザーの IP アドレスを表示します。
ユーザー	接続しているユーザーを表示します。
サービス	利用しているサービスを示します。 状態：ログイン状態を示します。 ライブ：現在の映像を監視している状態を示します。 再生：録画用 HDD に録画された映像を再生していることを示します。 ダウンロード：録画用 HDD に録画された映像をダウンロードしていることを示します。

## VIII PTZ 制御（予定機能）

この機能は現在開発中の機能です、ご利用いただけません。


## IX 再生・検索

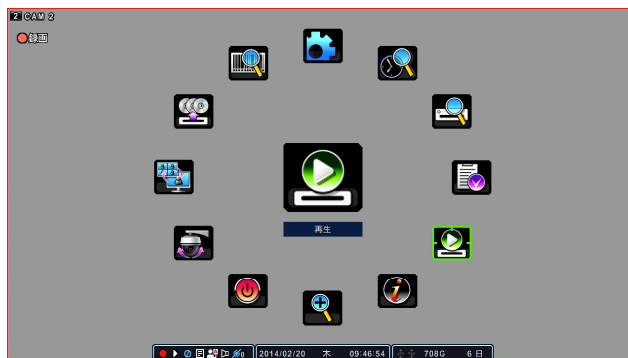
本機は、再生と検索の 2 つの再生手順をサポートし、データベースから素早く効率的に特定の範囲を見つけて再生することができる複数の検索機能を持っています。

### <注意>

再生動作中に、現在ログイン中のユーザーがタイムアウトした場合、再生は自動的に停止しライブ監視状態に戻ります。長時間の連続再生をしたい場合は、「システム」メニューの **一般** タブの「自動ログアウト」を「オフ」に設定してください。**参照**→67 ページ

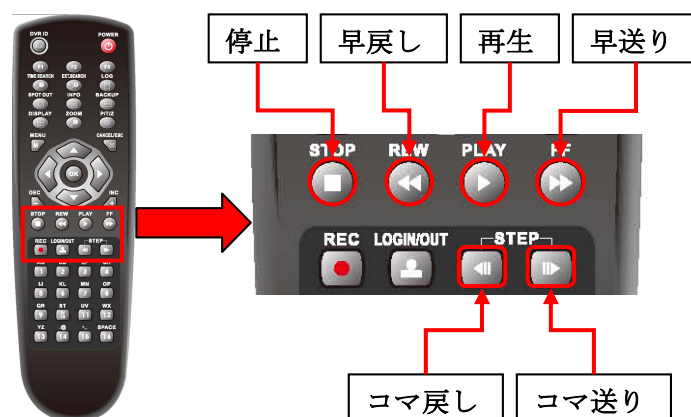
### 1. 再生

本機は、ライブモード時にリモコンで  「PLAY」ボタンを押すかメインメニューから「再生」を選択すると、ライブ監視中か録画中にかかわらず最新の録画データを再生します。そして、再生位置が記録されたデータの最後に達すると再生を停止します。



階層：メニュー→再生

再生中、逆再生・一時停止・最大 16 倍速の早送り（戻し）・コマ送り（戻し）が出来ます。

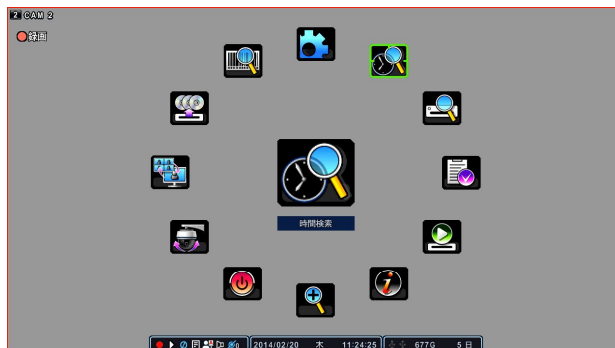


マウスによる操作については「再生コントロールバー」を参照してください。**参照**→21 ページ

## 2. 時間検索

### 1. 時間検索チャート

1. 時間検索チャートにアクセスするにはメインメニューから「時間検索」を選択するか  
**①TIME SEARCH**（時間検索） ボタンを押します。



2. バーグラフ状のカレンダーが表示され、録画データはイベント録画が赤色、ノーマル録画が黄色で表示されます。イベント録画とノーマル録画が重複する部分は赤色、カーソルは水色の枠で表示されます。



3. 方向 ボタンで全チャンネルまたは、個別のチャンネルの見たい日付をカーソルで選択します。  
分割画面表示で再生したい場合は、「全チャンネル」を選択します。  
全画面表示で再生したい場合は、「個別のチャンネル」を選択します。



分割画面で全チャンネルを表示



全画面でチャンネル2を表示

4. 最初はバーグラフの1マスは1日です。**+** ボタンを押す毎に「1時間」「5分」「30秒」と表示範囲を絞る事が出来ます。逆に表示範囲を広げるには、**-** ボタンを押します。マウスの場合はウィンドウ内のボタンをクリックします。



1 日単位



1 時間単位



5 分単位



30 秒単位

5. リモコンの場合は再生を開始したい位置で**OK** ボタンを押すと、再生を開始します。マウスの場合はバーグラフをダブルクリックすると再生を開始します。

#### <情報>

- 前後のページに移動するには、**◀◀** 早戻し 早送り **▶▶** ボタンを使います。
- リモコンの **▶** 再生 ボタンを押すと、1 回押す毎に、現在表示されているページの最後と最初へ、交互にジャンプします。
- 分割画面表示と全画面表示は、再生開始後に切替えることもできます。

## 2. プレビューサーチ

プレビューサーチでは、特定チャンネルの画像を静止画で確認しながらの時間検索が可能です。

1. **TIME SEARCH** (時間検索) ボタンで、時間検索を開始します。



2. 数字ボタンでチャンネルを指定すると、下図のようなプレビュー画面が表示されます。  
また、リモコンの **DISPLAY** ボタンまたはマウスでウインドウ内の **田** ボタンをクリックすることで元の時間検索チャートに戻すこともできます。

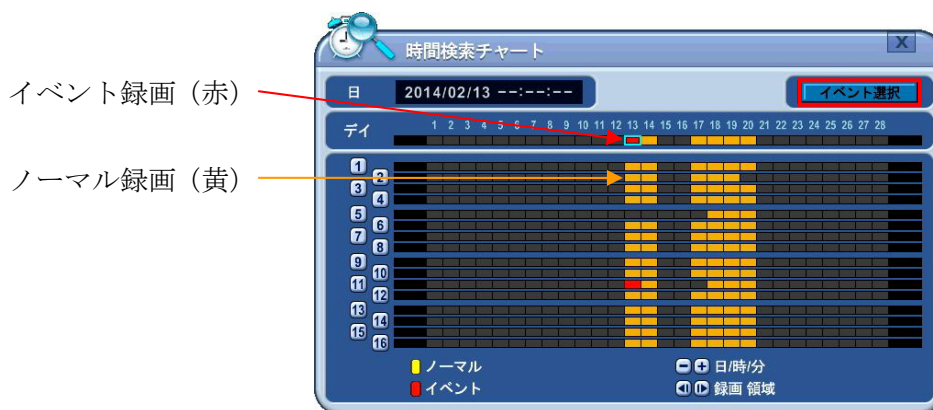


3. 方向ボタン **▲▼◀▶** でカーソル（画像の水色の枠）を目的の画像に移動して、**OK** ボタンを押すことで選択したチャンネルが全画面表示で再生されます。



### 3. イベント録画検索

本機は、初期設定状態の時間検索チャートで、ノーマル録画を黄色、イベント録画を赤色で表示します。





この状態で **イベント選択** ボタンを押すと、以下のウインドウが表示され、「検索モード」の項目は「イベント録画」になっています。



この状態では、イベント録画された時間帯が時間検索チャートで赤く表示されます。

#### 4. イベントソース検索（予定機能）

将来実装を予定している機能です、現在にご利用いただけません。

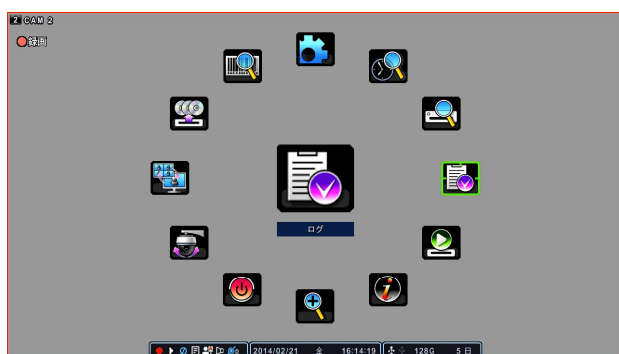
### 3. 時間入力（予定機能）

将来実装を予定している機能です、現在にご利用いただけません。

## 4. ログリスト検索

本機の動作状態を記録したログを閲覧し、そのログに記録された日時から再生することができます。

1. ログを表示するには、リモコンの **ログ** ボタンを押すか、メインメニューから「ログ」を選択します。



2. ログは、タブを選択することで、下表の分類に分けて表示させることができます。

タブ名	説明
オール	全てのログを表示します。
システム	システムに関するログを表示します。
ネットワーク	ネットワークアクセスのログを表示します。
イベント	イベント録画のログを表示します。
ビデオロス	ビデオロス（カメラ入力の映像信号中断）のログを表示します。

3. 上下ボタン **▲▼** でカーソル移動及び左右ボタン **◀▶** でページ移動ができます。
4. リモコンの場合、希望する行にカーソルを合わせて **OK** ボタンを押すと、そのログが記録された日時の映像を再生します。マウスの場合はログのある行を直接ダブルクリックします。



<情報> ログリストは HDD に保存されます。

## 1. ログ情報の詳細

ログリストに **i** アイコンがある行は、詳細情報があることを意味しています。



日付	時間	メッセージ	1ページ
2014/02/21	14:21:00	手動バックアップ停止 (admin)	
2014/02/21	14:18:56	手動バックアップ開始 (admin)	i
2014/02/21	14:17:48	外部装置追加 (USB F-A)	
2014/02/20	18:25:02	切断 (126.214.194.92)	
2014/02/20	18:24:34	ライブ (126.214.194.92 ADMIN)	
2014/02/20	11:33:19	メニュー設定 (画面/一般)	
2014/02/20	09:47:51	ビデオロス復旧 CH 7	
2014/02/20	09:46:07	ビデオロス CH 7	
2014/02/20	09:46:05	メニュー設定 (システム/一般)	
2014/02/20	09:45:51	ユーザーログイン (admin)	
2014/02/20	09:25:27	ユーザーログアウト (admin)	
2014/02/20	09:22:25	メニュー設定 (画面/一般)	

**i** アイコンの行を選択し、**INFO** ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。



日付	時間	メッセージ	1ページ
2014/02/21	14:21:00	手動バックアップ停止 (admin)	

ログ情報	
時間	2014/02/21 14:18:56
メッセージ	手動バックアップ開始
RANGE	2014/02/21 00:00:00 ~ 2014/02/21 00:05:00
ユーザー	admin
チャンネル	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

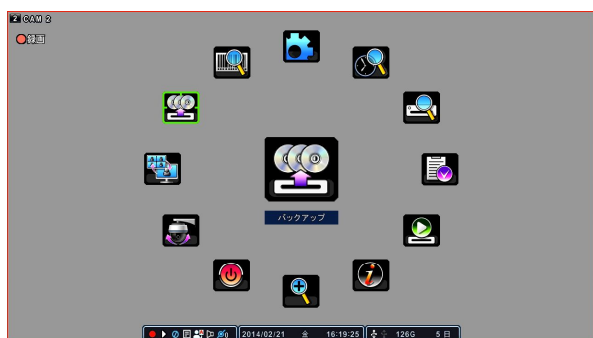
2014/02/20	09:46:05	メニュー設定 (システム/一般)
2014/02/20	09:45:51	ユーザーログイン (admin)
2014/02/20	09:25:27	ユーザーログアウト (admin)
2014/02/20	09:22:25	メニュー設定 (画面/一般)

# X バックアップ

## 1. 手動バックアップ

手動バックアップは、USB メモリー、USB HDD に、録画映像をバックアップすることができます。

1. バックアップ先のデバイス（USB メモリー、USBHDD）がフォーマットされていない場合は、「ディスク」メニューからフォーマットしてください。[参照](#)→48 ページ
2. リモコンの **BACKUP** ボタンを押すか、メインメニューで「バックアップ」を選択すると、「バックアップ」ウインドウが表示されます。



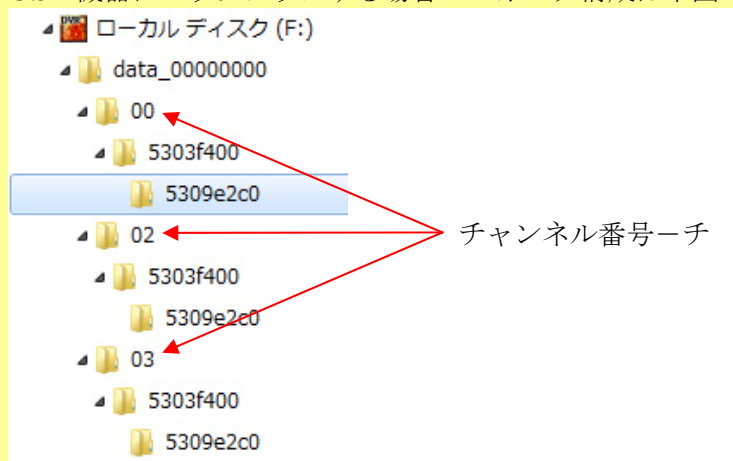
3. それぞれの項目を指定します。項目の詳細は下表の通りです。

項目	説明
デバイス	バックアップ先の機器をポート <b>+</b> <b>-</b> ボタンで選択します。ここで選択可能な選択肢の数は、本機に接続された記憶装置の状態によって異なります。 (上図の例では、前面パネルの USB ポートに接続された 16GB のデバイスを示しています。)
チャンネル	バックアップ対象に含める録画チャンネルを選択します。(初期値： <b>全選択</b> )
データ選択	<b>全データ</b> ：連続録画とイベント録画の両方をバックアップ対象に含めます。 <b>イベントのみ</b> ：イベント録画のみ、バックアップ対象に含めます。
ファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 専用形式と MCDPLAYER 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウェア「McdPlayer」と共にバックアップします。(遠隔監視ソフトがないパソコンで再生する場合はこちらを選択します)</li><li>● 専用形式 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウェアをインストールすることなくバックアップします。(遠隔監視ソフトを持ったパソコンまたは本機の同型機で再生する場合は、こちらを選択することもできます。)</li><li>● AVI Windows 標準の AVI 形式でバックアップします。再生には Windows Media Player 等、汎用のソフトウェアが利用できます。(x264 Codec)</li></ul>
期間	バックアップの開始日時と終了日時を指定します。
動作	<b>開始</b> ボタンで、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

4. 最後に **開始** ボタンを押すと、バックアップが始まります。

**<注意>**

- USB 機器にバックアップする場合のフォルダ構成は下図の例のようになります。



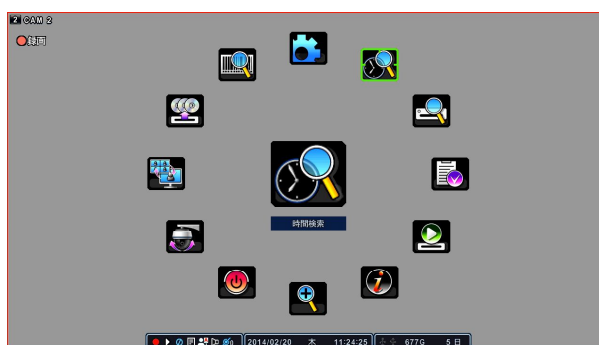
バックアップデータが保存されるフォルダは、録画チャンネル毎に分けられていますが、ファイル名を見るだけで直接録画された日時を知ることはできません

- 手動バックアップは、指定された日時の範囲より数分程度長めに保存されることがあります。

## 1. バックアップ期間の簡単な指定方法

上記の手動バックアップで、「期間」は直接数字ボタンで入力できますが、**BACKUP** ボタンで「バックアップ」ウインドウを表示したときに、最初に表示させる「期間」を簡単に指定することができます。

1. メインメニューで時間検索を選択するか **TIME SEARCH** ボタンを押します。



2. 「時間検索」ウインドウ内でカーソルを動かし、バックアップ開始位置で **STEP** ボタンを押すと、押した位置が紫色に変化します。



- 次に、バックアップ終了位置にカーソルを移動して **STEP III** ボタンを押すと、開始位置と終了位置の範囲が紫色になります。



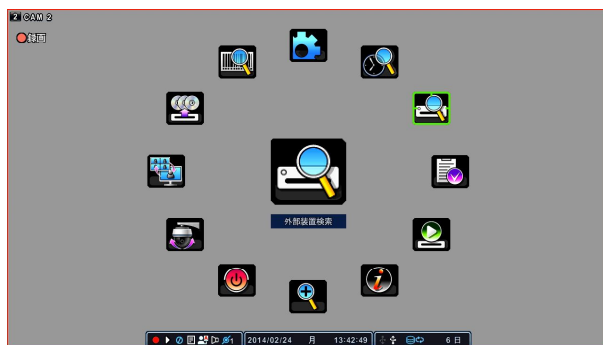
- この状態で、**CANCEL/ESC** ボタンを押して「時間検索」ウインドウを閉じます。
- BACKUP** ボタンを押して「バックアップ」ウインドウを開くと、「期間」の項目に「時間検索」ウインドウで指定した期間が反映されます。



## 2. 手動バックアップデータの再生

本機で手動バックアップした内蔵ドライブまたは USB デバイスのデータで「専用形式とMCDPLAYER」または「専用形式」としてバックアップされたものは本機で再生することができます。

- 再生したい USB デバイスを本機の USB ポートに接続します。
- メインメニューから「外部装置検索」を選択すると、「外部増設ディスク検索」ウインドウが表示されます。またはリモコンの **EXT-SEARCH** ボタンを押します。



3. **+** **-** ボタンで検索対象とする内蔵ドライブまたは USB デバイスを選択し、カーソルを **開始** ボタンに合わせてリモコンの **OK** ボタンを押すと、「時間検索」ウインドウが表示されます。



「時間検索」(時間検索) ウインドウの操作方法は、通常の時間検索と同じです。

**参照** → 76 ページ

## 2. 自動バックアップ(FTP)

本機は、録画された映像データを外部の FTP サーバに自動的に転送することができます。

1. BACKUP ボタンを押します。
2. **◀ ▶** (左右) ボタンで **自動バックアップ** タブを選択します。



項目	説明
デバイス	「FTP」のみ選択可能です。右側の <b>設定</b> ボタンで「FTP 設定」ウインドウを開きます。
チャンネル	バックアップ対象に含める録画チャンネルを選択します。
データ選択	<b>全データ</b> ：全ての録画映像をバックアップします。 <b>イベントのみ</b> ：イベント録画された映像のみバックアップします。
期間	1 日の中で自動バックアップする時刻の範囲を指定できます。
動作	<b>開始</b> ボタンを押すと、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

3. **設定** ボタンを押すと、「FTP 設定」ウインドウが開きます。「FTP 設定」では、接続先 FTP サーバに関する設定ができます。



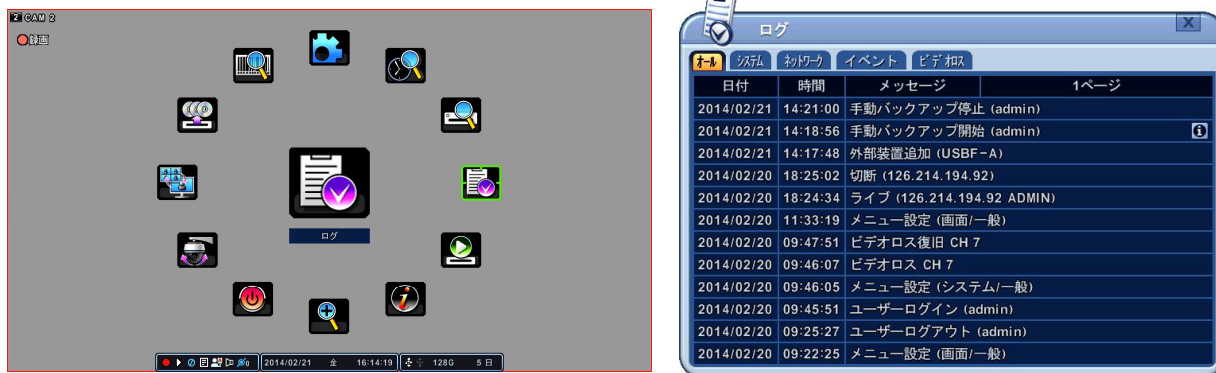
項目	説明
サーバー	接続先 FTP サーバの IP アドレスまたはホスト名.ドメイン名を入力します。 (最大 49 文字)
ポート設定	接続先 FTP サーバのサービスポート番号を指定します。一般的には「0021」です。
認証	オン：接続先 FTP サーバが認証を必要とする場合には “オン” を選択します。 オフ：接続先 FTP サーバが認証を必要としない場合は、“オフ” を選択します。
ユーザーID	接続先 FTP サーバのログイン ID を入力します。 利用可能な文字種：最大 26 文字までの半角英数
パスワード	接続先 FTP サーバのログインパスワードを入力します。 利用可能な文字種：最大 26 文字までの半角英数
接続	FTP 接続モードを指定します。 アクティブ：アクティブモードで FTP サーバに接続します。 パッシブ：パッシブモードで FTP サーバに接続します。  <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px;"> <p>&lt;情報&gt;</p> <p>本機が、ネットワークアドレスポート変換 (NAPT ルータ等) の内側 (LAN 側) にあり、FTP サーバが外側 (WAN 側) にある場合には、パッシブモードの利用をお勧めします。</p> </div>
バックアップ先フォルダ	FTP サーバのバックアップフォルダ (ディレクトリ) を指定します。 (最大 25 文字)
テスト	<b>開始</b> ボタンで、FTP サーバとの通信テストを実行します。結果はボタンの右側に以下のように表示されます。 正 常：正常に接続できた場合。 アカウントエラー:ユーザーID またはパスワードが間違っている場合。 応 答 無 し：サーバに接続できず、タイムアウトした場合。



### 3. ログリストのバックアップ

本機のログリストは、USB 接続された記憶装置にバックアップすることができます。

1. 本機の USB 端子に記憶装置（USB メモリまたは USB HDD）を接続します。
2. リモコンの **LOG** ボタンを押すかメインメニューで **ログ** を選択し、ログリストを表示します。



3. **BACKUP** ボタンを押すと、「ログバックアップ」ウインドウが表示されます。



項目	説明
デバイス	ログリストをバックアップするバックアップ先を <b>+</b> <b>-</b> ボタンで選択します。
種類	バックアップするログの分類を以下の 5 種類から選択します。 全            て：全てのログをバックアップします。 シ   シ   テ   ム：システムに関するログをバックアップします。 ネ   ッ   ト   ワ   ー   ク：ネットワークアクセスに関するログをバックアップします。 イ   ベ   ン   ト：イベント録画に関するログをバックアップします。 映   像   損   失：ビデオロスに関するログをバックアップします。
範囲	バックアップするログの期間を選択します。
動作	<b>開始</b> ボタンでバックアップを開始します。ボタンの右側に「完了」と表示されたら、バックアップ完了です。

#### <注意>

ログのバックアップ時には USB アイコンの色は変化しません。「動作」欄の「完了」表示を確認後に USB ケーブルを抜くようにしてください。

# XI 仕様

型番	PNR-HD4000 シリーズ				
	PoE 搭載			PoE 非搭載	
	HD4004P	HD4008P	HD4016P	HD4008	HD4016
システム					
PoE	4ch PoE	8ch PeE	8ch PoE 8ch PoE 無し	LAN ポート PoE 無し	LAN ポート PoE 無し
IP カメラ解像度	D1, 720p 1080p				
映像出力	VGA, HDMI (1920×1080p 以内)				
音声入出力	入力：4／8ch (IP カメラ側に内蔵) + 1ch (本体：双方向通話用) 出力：1ch (本体)				
音声入力レベル	0.5～1.4Vp-p 20KΩ				
センサー入力／出力	4 入力／1 リレー出力				
シリアルポート	RS-232, RS-485				
USB ポート	2 ポート (前面／背面)				
制御	USB マウス, 赤外線リモコン, 遠隔監視ソフトウェア				
録画					
映像／音声圧縮	H.264 コーデック				
スループット	最大 40Mbps				
録画速度	4ch：最大 120fps (1080p 最高画質) 8ch：最大 240fps (1080p 超高画質) 16ch：最大 480fps (1080p 高画質)				
録画モード	連続, 予約, イベント (モーション／センサー)				
画質	最高画質, 超高画質, 高画質, 中画質, 低画質 (チャンネル数, 解像度, フレーム数の組み合わせによって制限があります)				
事前, 事後録画	5～300 秒 (5 秒ステップ)				
モーションエリア	8×8／感度 20 段階				
再生					
検索モード	カレンダー, 時間, イベント, サムネイル, 即時再生				
再生スピード	早送り／早戻し 1x～16x, コマ送り／戻し				
ストレージ					
HDD サポート	SATA HDD 2 台内臓 (6TB 以内)				
ODD サポート	無し				
外部ストレージ	e-SATA (1 ポート) ／USB (2 ポート)				
バックアップデバイス	USB フラッシュドライブ／ネットワーク				
表示					
画面分割	1, 4	1, 4, 6, 7, 8	1, 4, 6, 7, 9, 13, 16	1, 4, 6, 7, 8	1, 4, 6, 7, 9, 13, 16
カメラタイトル	全角 10 文字 (半角 20 文字) 以内				
GUI	有				
デジタルズーム	1x, 2x, 4x, 8x				
ネットワーク					
ネットワーク圧縮	H.264 / JPEG				
ネットワークユーザー	1+10				
クライアント ソフトウェア	EMS2 (Windows) Mobile CMS, Touch CMS (Android, iOS)				
遠隔通知	電子メール, プッシュ通知 (スマートフォン)				
ネットワークプロトコル	TCP/IP, SMTP, DHCP, DDNS, UPnP				

その他				
電源復旧		自動復旧		
重量		約 2.7Kg (HDD 含まず)		
寸法		38(幅)×34(奥行)×7(高)cm		
電源	本体用	DC 12V 5A AC アダプター		
	PoE 用	DC 48V 1A AC アダプター	DC 48V 2A AC アダプター	
動作温度湿度範囲		温度：5～40℃ 湿度：30～80% RH		

## XII 付録

### 1. 故障かな？と思ったら

本機の正常な動作で、故障と勘違いしやすい現象を以下にまとめています。以下の表をご覧ください問題が解決できない場合には、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。

現象	考えられる原因	対処法
電源が切れない	本機は電源を切る事は出来ません。	本機には、電源ボタンがありますが、これは本機を、電源コードを抜いても良い状態にするためのものです。 「電源アダプターを DVR から外してください」が表示されたら電源プラグをコンセントから抜くか AC アダプターの DC プラグを DVR から抜いてください。
時刻同期サーバの設定をしても時刻同期出来ない	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	時刻同期機能はネットワーク接続（公開 NTP を使用する場合はインターネット）が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
電子メール通知機能を設定したが電子メールが送信されない。	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	電子メール通知機能はインターネット接続が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
イベント録画が出来ない	専用の IP カメラを使用していますか？	ONVIF 接続された他社製 IP カメラでは、イベント録画機能はご利用いただけません。他社製 IP カメラの場合はノーマル録画でご使用ください。
モーション録画が出来ない	モーション録画をするには「カメラ」設定と「録画」設定の両方を設定しましたか？	モーション録画をするにはそれぞれのチャンネルについて以下の設定をする必要があります。 1. 「カメラ」メニューから、それぞれの IP カメラの設定の「エリア設定」を設定する。 2. 「録画」設定の <b>デイイベント</b> 及び／または <b>ナイトイベント</b> タブで、モーション検出チャンネルと録画チャンネルを対応付けする。 3. 「録画」設定の <b>デイ</b> 及び／または <b>ナイト</b> タブで「イベント」列の録画設定をする。
バックアップが出来ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップ先メディアがフォーマットされていますか？</li> <li>バックアップ先メディアに十分な空き容量がありますか？</li> </ul>	メディアをフォーマットしてください。 <b>参照</b> →48 ページ  <b>&lt;注意&gt;</b> フォーマットすると、そのメディアの全てのデータが失われます。大切なデータは必ず他のメディアにコピーしてください。
	バックアップする日時の範囲は適切ですか？	バックアップする日時の範囲を正しく設定してください。
日時設定（時計合わせ）が出来ない。	録画中ではありませんか？	本機は録画中に日時設定をすることは出来ません。一旦録画を停止してから日時を修正後に録画を再開してください。  <b>&lt;注意&gt;</b> 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。

特定のカメラのライブ映像が映らない	「システム」メニューの ユーザー設定タブ内で視聴可能なチャンネルを制限していませんか？	管理者またはそのチャンネルの視聴権限のあるユーザーでログインしてください。  <b>&lt;注意&gt;</b> ログアウトした状態では全てのユーザーに共通に許可されているチャンネルだけを見る事ができます。
-------------------	---	--

## 2. IP カメラの接続設定

本機は、IP カメラの種類と接続方法に応じて、適切な設定をしていただく必要があります。

### 1. IPCAM ポートに専用 IP カメラを直接接続

プラグアンドプレイ機能で自動設定されます、設定を変更する必要はありません。



設定を変更した場合は、「自動」に戻す。

#### <情報>

- ハブを経由して IP カメラを接続すると、プラグアンドプレイ機能は利用できなくなります。
- LAN ケーブルを延長したい場合は、対応するイーサネットエクステンダーをご利用いただくことが出来ます。対応していない機種を利用した場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

### 2. IPCAM ポートに専用 IP カメラをハブ経由で接続

ハブを経由すると、プラグアンドプレイ機能は利用できなくなります。その場合、以下のような設定をしていただくことで、IP カメラと IPCAM ポートの間にハブを入れる事が出来ます。

1. 「カメラ」メニューで対象チャンネルの「接続」を「手動」にします。

#### <注意>

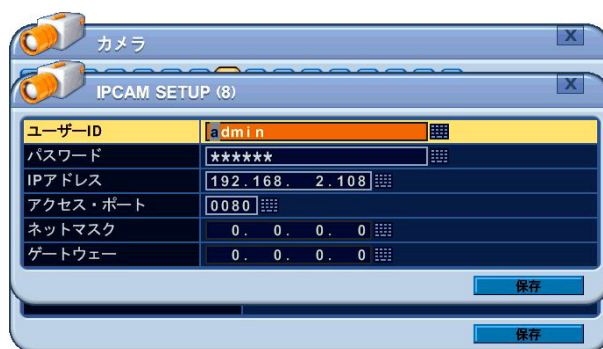
この設定は、IP カメラを IPCAM ポートに接続する前に実施してください。この設定をする前に IP カメラを接続してしまうと、IP カメラの IP 情報が自動設定されますので、初期設定値とは異なる値になります。

2. 「プロトコル」を「デフォルト」にします。

- 「IP 情報」の「USE」チェックボックスをチェックし、**設定** ボタンで「IPCAM SETUP」ウインドウを開きます。



- 「IPCAM SETUP」ウインドウで IP カメラのログイン情報を入力します。



項目	説明
ユーザーID	IP カメラにログインするためのユーザーID を入力します。 IP カメラの初期設定は「admin」です。
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを入力します。 IP カメラの初期設定は「000000」です。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。 IP カメラの初期設定は「192.168.0.251」です。
アクセス・ポート	IP カメラのポート番号を入力します。 IP カメラの初期設定は「80」です。
ネットマスク	入力できません。(予定機能)
ゲートウェー	入力できません。(予定機能)

#### <注意>

- ここで入力する情報は、後で IP カメラに登録する情報と一致するように入力してください。
- 複数の IP カメラを手動設定で使用する場合は、IP アドレスが重複するので IP カメラの設定を初期設定のまま使用することは出来ません。
- この設定を適切に行うためには、TCP/IP ネットワークに関する基礎知識が必要です。
- 手動設定する IP カメラと本機の IPCAM ポート用のアドレス空間は、自動設定に使用するネットワークアドレスの範囲（10.244.10.0/24）及び LAN ポートで使用するネットワークアドレスの範囲を避けたプライベートアドレスの範囲から選定してください。

- 設定を保存して「IPCAM SETUP」ウインドウと「カメラ」メニューを閉じます。

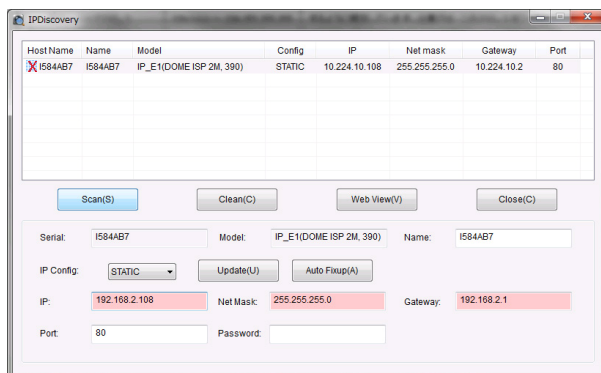


- 「ネットワーク」メニュー「IPCAM」タブから本機の IPCAM ポートの IP 情報を入力します。



項目	説明
IP 設定方式	<b>固定IP</b> : 本機の IPCAM ポートの IP アドレスを以下の欄で直接指定する場合はこちらを選択します。 <b>DYNAMIC IP(DHCP)</b> : 本機の IPCAM ポートの IP アドレスを DHCP サーバから割り当てる場合はこちらを選択します。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
ネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを入力します。

- Windows の動作している PC を用意し、IP カメラはその PC と同じネットワークに接続してから付属の IPDiscovery ソフトウェアで IP カメラに IP 情報を登録します。



- IP カメラを本機の IPCAM ポートにハブ等を経由して接続します。
- 1～2 分程度で映像が表示されることを確認します。

### 3. LAN ポートに専用 IP カメラをハブ経由で接続

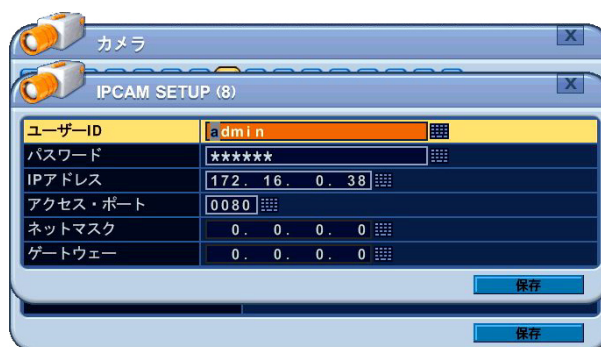
LAN ポートで IP カメラを使用する場合、遠隔監視等、他のネットワーク機能とポートを共有します。トラフィック計算等、一般的な IP カメラシステムで必要な全ての設定や計算が必要となります。

- 「カメラ」メニューで対象チャンネルの「接続」を「手動」にします。
- 「プロトコル」を「デフォルト」にします。

3. 「IP 情報」の「USE」チェックボックスをチェックし、**設定** ボタンで「IPCAM SETUP」ウインドウを開きます。



4. 「IPCAM SETUP」ウインドウで IP カメラのログイン情報を入力します。



項目	説明
ユーザーID	IP カメラにログインするためのユーザーIDを入力します。 IP カメラの初期設定は「admin」です。
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを入力します。 IP カメラの初期設定は「000000」です。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。 IP カメラの初期設定は「192.168.0.251」です。
アクセス・ポート	IP カメラのポート番号を入力します。 IP カメラの初期設定は「80」です。
ネットマスク	入力できません。(予定機能)
ゲートウェー	入力できません。(予定機能)

#### <注意>

- ここで入力する情報は、後で IP カメラに登録する情報と一致するように入力してください。
- 複数の IP カメラを手動設定で使用する場合は、IP アドレスが重複するので IP カメラの設定を初期設定のまま使用することは出来ません。
- この設定を適切に行うためには、TCP/IP ネットワークに関する基礎知識が必要です。

5. 設定を保存して「IPCAM SETUP」ウインドウと「カメラ」メニューを閉じます。

6. 「ネットワーク」メニュー「LANポート」タブから本機の LAN ポートの IP 情報を入力します。

IP設定方式	固定IP	DYNAMIC IP(DHCP)
IPアドレス	172.16.0.30	
ネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	172.16.0.1	
第1DNSサーバ	168.126.63.1	
第2DNSサーバ	210.220.163.82	

詳細は「ネットワーク」設定メニューの「LANポート」タブを参照してください。

**参照**→52 ページ

7. Windows の動作している PC を用意し、IP カメラはその PC と同じネットワークに接続してから付属の IPDiscovery ソフトウェアで IP カメラに IP 情報を登録します。

Host Name	Name	Model	Config	IP	Net mask	Gateway	Port
I584AB7	I584AB7	IP_E1(DOME ISP 2M, 390)	STATIC	10.224.10.108	255.255.255.0	10.224.10.2	80

8. IP カメラを本機の IPCAM ポートにハブ等を経由して接続します。  
9. 1～2 分程度で映像が表示されることを確認します。

#### <注意>

- 一般的に、LAN ポートに接続されるネットワークは、IP カメラを含む複数のネットワーク機器が同じネットワークを共有します。従ってそれらの機器が不具合を生じないように、ネットワークエンジニアによる適切な設定が必要になります。
- 手動設定する IP カメラと本機の IPCAM ポート用のアドレス空間は、自動設定に使用するネットワークアドレスの範囲（10.244.10.0/24）及び LAN ポートで使用するネットワークアドレスの範囲を避けたプライベートアドレスの範囲から選定してください。

#### 4. サードパーティー製 IP カメラを IPCAM ポートに ONVIF 接続（予定機能）

##### <注意>

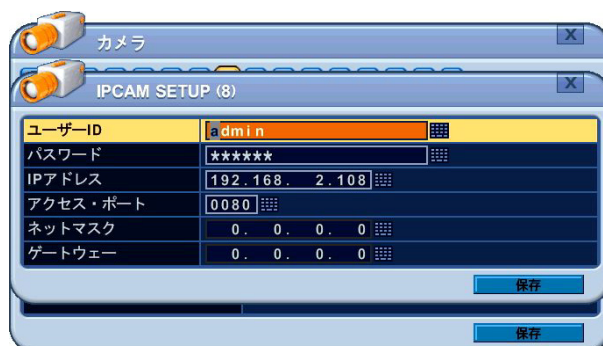
ONVIF 接続機能は、現在開発中の機能です。この設置・取扱説明書を制作している時点ではお客様によるご利用はお勧めしておりません。

本機は、ONVIF プロトコルを持つサードパーティー製 IP カメラを IPCAM ポートに接続することができます。

1. 「カメラ」メニューで対象チャンネルの「接続」を「手動」にします。
2. 「プロトコル」を「ONVIF」にします。
3. 「IP 情報」の「USE」チェックボックスをチェックし、**設定** ボタンで「IPCAM SETUP」ウインドウを開きます。



4. 「IPCAM SETUP」ウインドウで IP カメラのログイン情報を入力します。



項目	説明
ユーザーID	IP カメラにログインするためのユーザーIDを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
アクセス・ポート	IP カメラのポート番号を入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
ネットマスク	入力できません。(予定機能)
ゲートウェー	入力できません。(予定機能)

#### <注意>

- ここで入力する情報は、後で IP カメラに登録する情報と一致するように入力してください。
- 複数の IP カメラを手動設定で使用する場合は、IP アドレスが重複するので IP カメラの設定を初期設定のまま使用することは出来ません。
- この設定を適切に行うためには、TCP/IP ネットワークに関する基礎知識が必要です。
- 手動設定する IP カメラと本機の IPCAM ポート用のアドレス空間は、自動設定に使用するネットワークアドレスの範囲 (10.244.10.0/24) 及び LAN ポートで使用するネットワークアドレスの範囲を避けたプライベートアドレスの範囲から選定してください。

- 設定を保存して「IPCAM SETUP」ウインドウと「カメラ」メニューを閉じます。
- 「ネットワーク」メニュー「IPCAM」タブから本機の IPCAM ポートの IP 情報を入力します。



項目	説明
IP 設定方式	<b>固定IP</b> : 本機の IPCAM ポートの IP アドレスを以下の欄で直接指定する場合はこちらを選択します。 <b>DYNAMIC IP(DHCP)</b> : 本機の IPCAM ポートの IP アドレスを DHCP サーバから割り当てる場合はこちらを選択します。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
ネットマスク	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを入力します。

- 接続する IP カメラの IP 情報等を設定します。設定方法は接続する IP カメラの取扱説明書を参照してください。
- IP カメラを本機の IPCAM ポートにハブ等を経由して接続します。
- 1～2 分程度で映像が表示されることを確認します。

## 5. サードパーティー製 IP カメラを LAN ポートに ONVIF 接続（予定機能）

### <注意>

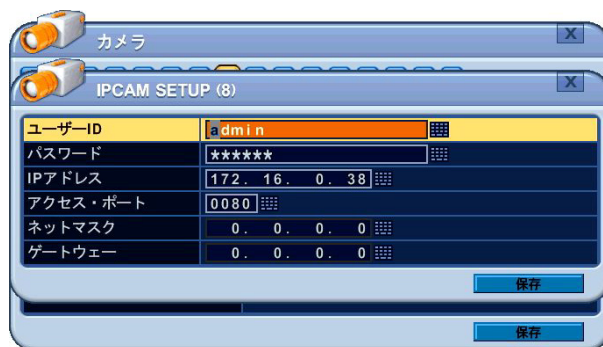
ONVIF 接続機能は、現在開発中の機能です。この設置・取扱説明書を制作している時点ではお客様によるご利用はお勧めしておりません。

本機は、ONVIF プロトコルを持つサードパーティー製 IP カメラを LAN ポートに接続することができます。

- 「カメラ」メニューで対象チャンネルの「接続」を「手動」にします。
- 「プロトコル」を「ONVIF」にします。
- 「IP 情報」の「USE」チェックボックスをチェックし、**設定** ボタンで「IPCAM SETUP」ウインドウを開きます。



4. 「IPCAM SETUP」 ウィンドウで IP カメラのログイン情報を入力します。



項目	説明
ユーザーID	IP カメラにログインするためのユーザーIDを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照
パスワード	IP カメラにログインするためのパスワードを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
IP アドレス	IP カメラの IP アドレスを入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
アクセス・ポート	IP カメラのポート番号を入力します。 IP カメラの初期設定は IP カメラのマニュアル参照。
ネットマスク	入力できません。(予定機能)
ゲートウェー	入力できません。(予定機能)

<注意>

- ここで入力する情報は、後で IP カメラに登録する情報と一致するように入力してください。
- 複数の IP カメラを手動設定で使用する場合は、IP アドレスが重複するので IP カメラの設定を初期設定のまま使用することは出来ません。
- この設定を適切に行うためには、TCP/IP ネットワークに関する基礎知識が必要です。
- 手動設定する IP カメラと本機の IPCAM ポート用のアドレス空間は、自動設定に使用するネットワークアドレスの範囲（10.244.10.0/24）及び LAN ポートで使用するネットワークアドレスの範囲を避けたプライベートアドレスの範囲から選定してください。

5. 設定を保存して「IPCAM SETUP」ウィンドウと「カメラ」メニューを閉じます。
6. 「ネットワーク」メニュー「LAN ポート」タブから本機の LAN ポートの IP 情報を入力します。



詳細は「ネットワーク」設定メニューの「LAN ポート」タブを参照してください。

**参照**→52 ページ

7. 接続する IP カメラの IP 情報等を設定します。設定方法は接続する IP カメラの取扱説明書を参照



してください。

8. IP カメラを本機の IPCAM ポートにハブ等を経由して接続します。
9. 1～2 分程度で映像が表示されることを確認します。

輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

**TEL: 0985-55-0752**

**FAX: 0985-55-0815**

**<http://www.interluck.co.jp>**